

## ・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北海道)	良く なっている やや良く なっている	－	－	－
		商店街（代表者）	単価の動き	・高額商品の動きがやや良くなってきた。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・1月は新春初売りもあり、客の購買意欲が高まった。売上も前年比125%となった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金終了後の谷間が過ぎて、ようやく上向きになってきた。
		自動車備品販売店（店長）	来客数の動き	・単価は良くないが、来客数は伸びている。新車納車後の用品購入や車検入庫台数の増加が要因である。ただ、オーディオは価格が下がっている傾向にあり、一概に景気が良いとは言えない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・1月は雪が多く、道路の除雪も悪く、車が渋滞し走りづらかったため、タクシーの売上は前年より減っている。ただ、電話での注文が増えており、客の声を聞いても少し景気が良くなっているという話が多い。
		タクシー運転手	販売量の動き	・年末から年始にかけての動きや、季節要因である寒さによる面もあるが、前月と同様に、消費の動きがやや強くなっていることで、受注量、売上とも、やや良くなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・観光客の減少が始まった3か月前と比較すると、帰省客の飲食や新年会などがあったことから、タクシーの売上は約9.4%の伸びとなった。また、前年と比較しても、約3%の売上増であったため、やや良くなっている。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・前年を5%上回る売上となり、明らかに数か月前とは雰囲気異なってきた。商品も1ランク上のものに興味を持ち、説明を聞いてくれる傾向がみられる。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・年末年始にかけての株高円安で、客のムードが大変良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームに来訪する客の数が増加しているが、それ以上に客の質が高い。冷やかしの客は皆無であり、モデルルームを見学する前に、自分でマンション購入に関する勉強をしに来る客も多い。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・1月はバーゲン月であったが、防寒物など、単価の高い商品の買い渋りがこれまでと同様にみられたほか、ニットやスカートなどの単品の売上も、前年と比べてもあまり良くなかったため、状況は変わっていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・全体的に良くも悪くもないという雰囲気にある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・バス及び自家用車の使用状況を確認する限り、今月の中旬以降、主要購買層である中・高齢者の来街が低調である。比較的暖くなる昼の時間帯も、カラオケなどの遊興施設を利用している買物袋を持たない若年層がみられる程度である。中心部のスーパーが中旬に閉店したことが影響しているとみられる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今年の北海道は、大雪、極寒という気象状況により、客が外出を控えている傾向がみられ、消費に多大な影響を及ぼしている。現在も、積雪による道路幅の減少により通行障害が多発していることで、バスや自家用車での外出が減っており、中心商店街は大打撃を受けている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・今月は、例年になく寒波の襲来で天候の荒れている日が続いているため、交通寸断などが多く、来客数が落ち込んでおり、売上に悪影響を与えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・前年の10月以降、売上にブレーキがかかっている状況が続いている。年が明ければ、やや良くなるのではないかと期待していたが、最終的にはあまり良い売上ではなく、まだ前年の秋以来の悪い状況が続いている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・1月20日までの全店の売上は前年比93%であり、前月の前年比94.9%と比べて落ち込んでいる。買上客数も前年比93%となっており、前月の前年比102.9%よりも落ち込んでいる。
		百貨店（役員）	販売量の動き	・日本経済全体では、円安、株高等に浮かれた感があるが、消費の現場では足元の動きが良くなっている実感はない。逆に、円安によるガソリンを含めた原材料の高騰が家計を圧迫し、消費が落ち込む要因となるのではないかと不安である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は増えているが、買上点数が伸びていない。世間で騒がれているような景気の上昇は、北海道ではまだみられない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・基本的に客の消費スタンスは変わっておらず、財布のひもは依然として堅いようである。マスコミでは高価格帯に明るい兆しがあるかのように報道する場面がみられるが、地方ではまだまだである。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・株式市場の盛り上がり、為替の円安傾向などがみられるが、店頭での来客数は依然として厳しい状況が続いており、顧客の消費行動に好転の兆しが見えてこない。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・月初より大雪に悩まされており、特に大型店舗など、商圏の広い業態では来客数が前年比で4～5%減少している。雪の多さに加えて、除雪が行き届かないことが問題となっている。客単価は、前年比で2%程度高くなっているものの、来客数の落ち込みが売上を落としている要因となっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・12月以降、低温と積雪の影響で、夜間と深夜の来客数が減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候要因もあるが、早朝を中心に来客数が減少している。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・LED照明は省エネ商品ということで好調に売れているが、テレビの販売の落ち込みをカバーするまでには至っていない。価格下落と販売量の落ち込みが重なり、依然として状況は厳しい。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・お正月の初売りは前年とほぼ変わらなかったが、1月後半にかけて、前年を下回ってしまった。
		家電量販店（地区統括部長）	販売量の動き	・前年の地上デジタル放送への完全移行後の初売りセールよりは好調であったが、依然として単価が低く、全体としてはほぼ横ばいの売上であった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・店舗により多少の違いがあるものの、ショールームに来る客がめっきり少なくなっている。また、新車に試乗した客であっても、乗換えは中古車と言われるケースが増えている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・前年は新商品が出た時期であったため、単純に比較できないが、前年後半から客の動きや販売量に大きな変化はみられない。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・石油価格の高騰により、客の節約志向が強まっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・毎年のことであるが、歳末商戦や正月商戦で出費がかさんでいるため、1～2月は来客数が減り、消費も控えられる傾向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月は中旬から下旬にかけて悪かった。観光客らしい客は少なく、特にディナータイムはひどかった。イベントやフェアを企画しても、その時は客が入るが、それ以外の日は閑散としている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・政権が変わり、色々な景気対策が取りざたされているが、地方まで波及するにはまだまだ時間がかかる。また、今年はとても寒い中、重油、ガソリンが値上がりしているため、食にかけるお金が減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・売上も来客数もあまり変わらないが、今度宴会をするとか、今度飲みに行くとか、今度繁華街に出るとか、そういう明るい声がかかなり多くなってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
企業 動向 関連  (北海道)		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・外国人観光客は台湾を中心に回復しているが、国内旅行客の回復が遅れている。北海道内からの個人客はインターネット予約を中心に着実に増加しているが、道外からのツアー客が漸減している。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・注文数は前年並みであるものの、問い合わせが減少している。	
		通信会社(企画 担当)	お客様の様子	・春の新入学、新社会人の商戦時期にもかかわらず、商品、サービスに対する客の期待が競合他社に向いたままである。	
		その他サービスの 動向を把握で きる者〔フェ リー〕(従業 員)	来客数の動き	・厳冬期を迎えて、旅客、車両輸送ともに輸送量が減少している。	
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・特に目立った動きがみられない。	
	やや悪く なっている	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・今月は非常に寒い日が続き、前半はコート関連の防寒用品の売行きが良かったが、後半は降雪の影響もあり、来客数、売上ともに減少している。	
		百貨店(販売促 進担当)	来客数の動き	・月半ばからの連日の雪による交通機関のまひに加えて、日常の雪かきに追われることなどから、市内中心部への来街者が減少している。特に、高齢者でそうした傾向が顕著にみられることで、午前中の来客が少なくなっており、来客数が減少傾向にある。	
		百貨店(販売促 進担当)	単価の動き	・これまで客単価の上昇が、来客数の減少を補っていたが、今月は客単価の低下が顕著である。動員企画を実施することで、期間中は来客数の増加がみられ、波及効果として売上も増加したものの、企画終了後は来客数が前年を下回る傾向がみられた。	
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・デフレ脱却に向けて追い風が吹いてきているのかもしれないが、実際には、依然として売上の落ち込みが大きく、前年割れが続いている。	
		スーパー(役 員)	お客様の様子	・年明け以降、野菜が高騰していることへの対策として、すべての食品に対する支出を節約しようとする傾向が強まっており、消費全体が減退している。	
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・年末の忘年会が少なかつた分、新年会が増えるのではないかと期待していたが、予想が外れて前年を下回った。また、月前半の荒天の影響により、来客数が落ち込んだ。月後半になり、来客数は持ち直したものの、月全体では売上が上がらなかった。	
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・需要を喚起するようなイベントの開催がないこともあり、個人客、団体客とも動きが鈍く、週末も満室にならない状況にある。近隣の東南アジアからの旅行客は横ばいで推移している。	
		観光名所(従業 員)	来客数の動き	・1月28日までの利用客数は前年比91.8%であり、東日本大震災前の2010年度と比較した前々年比は81.9%となっている。	
		パチンコ店(役 員)	単価の動き	・北海道では4月まで暖房が必要であり、灯油需要も高いため、今回の値上がりは消費者にとって大きな負担である。また、電気料金の値上げが計画されていることも影響している。	
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・初旬は年末に引き続き、来客数、客単価とも好調であったが、月末にかけて下降気味となっている。	
	悪く なっている	その他専門店 〔医薬品〕(経 営者)	お客様の様子	・1月は購買意欲が厳しい月であった。年金月以外は苦戦が続いており、風邪やインフルエンザによる需要は完全に病院に取られている。	
	良く なっている  やや良く なっている	—	—	—	—
		家具製造業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・円安で輸出環境が整ってきたことに加えて、消費税増税前の駆け込み需要によって市況が改善している。	
			建設業(従業 員)	取引先の様子	・医療関連施設の耐震診断を2015年までに完了させる前政権の方針や、耐震改修を推進する新政権の方針により、耐震診断や建て替え検討の引き合いが多くなっている。
コピーサービス 業(従業員)			受注量や販売量 の動き	・受注量が増加傾向にある。販売価格も多少ではあるが、以前に比べて上がっている。	
その他サービス 業〔建設機械 リース〕(支店 長)	取引先の様子	・主要取引先である建設業者が、政権交代にともなう公共工事の発注増に期待感を抱いている。建設業は当地の基幹産業という側面があり、関連する産業が多岐に渡るため、総合的な景気底上げの原動力になる。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	食料品製造業 (団体役員)	それ以外	・円安への移行がみられるものの、現状では、原油や電気料金の高騰を始めとして、消費者生活に与える経済的な影響が改善されておらず、どちらとも言えない状況にある。また、寒波と大雪のため、野菜や生鮮食料品が、例年と比較して3～5割ほど高騰しており、消費生活に少なからず影響が生じている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・年明け以降、主要貨物である、紙製品、医薬品、飲料品、農産物、林産品の本州向け輸送に大きな変化はみられない。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・季節要因もあるが、荷動きに大きな変化はみられない。
		金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資は医療福祉施設の増設やメガソーラーの建設などで底堅い。住宅投資も高齢者向けの賃貸住宅の建設が活発である。しかし、例年になく寒波と大雪で客足が鈍るなど、個人消費がマイナスとなっているほか、物流も停滞を余儀なくされている。
		司法書士	取引先の様子	・現時点において、大きな変化はみられない。
		司法書士	取引先の様子	・ガソリン、灯油の値上がりとともに、寒さと降雪の影響で移動にかかるガソリンの消費が多くなっており、急がないものは後回しされる状況にある。このため、不動産の取引も動きが鈍く、雪解けを待つ状態である。
	やや悪くなっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・年末需要の反動で、消費が極端に弱くなっている。
		食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・受注量が減っており、生産調整が必要になってきている。
		司法書士	取引先の様子	・例年と比較しても、土地の売買、建物の新築が少ない。
		その他サービス業 [ソフトウェア開発]（経営者）	受注量や販売量の動き	・今後の景気を様子見しているのか、年度末に向けて、仕事量が減ってきている。
その他非製造業 [鋼材卸売]（役員）		受注量や販売量の動き	・年末年始にかけて稼働日数が少なかったせい、消耗品関連を中心に売上が伸びず、苦戦している。	
悪くなっている	○	○	○	
雇用 関連 (北海道)	良く なっている	—	—	—
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・年明けすぐの求人ニーズは、政権交代後の動向を見定めるかのようなゆったりとした動きでスタートした。中旬になり、本格的な募集活動が始まり、前年から引き続き建設系や貨物運送が堅調に推移している。また、飲食や小売などの個人消費も順調である。飲食店は新規店も数多くオープンしている。IT関連ではスマートフォンや金融系のソフト開発などのニーズが多く出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で10.3%増加し、35か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数も前年比で15.3%増加し、35か月連続で前年を上回った。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者の希望する条件と、求職者のスキルが見合っていない。身の丈以上の仕事で条件の良いものを選んでいるため、仕事が決まらない又は決まってもすぐに辞めるミスマッチが多くなっている。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・求人数は前年と比べて若干の伸びがみられるものの、求職者のスキルとキャリアのミスマッチも多く、判断に難しい面がある。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	雇用形態の様子	・現状は3か月前と大きく変わっていないが、地域経済自体は、地元の有力な産業もなく、やや弱含みとなっている。求人数や求職者数などもほぼ横ばいで推移している。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・募集広告の売上が前年比115%と引き続き堅調に推移している。一方、出稿社数は前年と比べて微増している。出稿のある企業のうち、今年の新規と、前年実績先で今年の出稿がない企業はきつ抗しており、約70%の企業が入り替わっている。引き続き地元企業からの出稿がコンスタントに得られており、特に小売業、飲食店、地元土木建設業関連の求人が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	それ以外	・12月の管内の有効求人倍率は0.59倍と前年を0.12ポイント上回っており、当管内としては高い水準にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業における求人提出事業所数は、前年と比べ大きく増加しているものの、求人数が増加していない。一方、グループホーム等の福祉施設で、3～4月の新規開設にともなう求人がまとまって出ている。新規求人の増加は介護や医療の分野だけであり、全産業に広がっているわけではない。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・12月の新規求人数は前年比で23.8%の増加となった。新規求職者数は前年比で11.7%の減少となった。月間有効求人倍率は0.74倍となり、前年の0.55倍を0.19ポイント上回った。新規求人数のうち、正社員求人の占める割合は46.4%と求人者と求職者との間における職種や労働条件のミスマッチも少なくないことから、依然として厳しい状況にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・変化は感じられない。
	やや悪くなっている	○	○	○
	悪くなっている	—	—	—

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)	良くなっている	乗用車販売店（エリア担当）	それ以外	・初売りが好調となっている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・今月は出だしは威勢が良かったものの、後半になるに従い尻すぼみ状態になっている。生活者は株高に浮かれるほど馬鹿ではなく、冷静さを持っているようである。ただし、何となく全体的に明るくなっているような気がする。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年になく雪に見舞われており、やはり客の出足にはかなり影響を与えている。期待した初売りであったが、2日はまだしも3日の荒天に泣かされた。結果として来客数は減少となったが、ターゲットを絞って必需品をセットした福袋に力点を置き、購買単価増で前年をクリアした店もある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・寒波及び積雪で年末年始セールの実績が危ぶまれたが、平常程度の集客は確保できた。新政権によるデフレ脱却の期待か、全体の雰囲気がやや明るくなってきている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・今月は来客数及び販売量はそれほど良くないが、それは天気が悪いためであって、単価の動きは良く、決して景気が悪い方向に向いているわけではない。あまりにも天気が悪いので、それが来客数に響いてきている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・例年1月は年末の繁忙の反動から、売上がかなり悪化するのが通例である。今月の売上は3か月前と大差ないとはいえ、上記の通例をあわせて解釈すれば、やや良くなっていると判断できる。データ上、年間の平均的な客単価と比べ、今月も大きな変動が見られないので、この改善傾向は来客数の改善からきているといえる。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・初商の客の動きや販売量については、福袋といったものが、より実需に合った商品の動きになっている。数か月前より良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・初売りに関しては前年比105%とトレンドの数値を上回っている。特にプロパーが110%と伸ばし、欲しい商品はセールを待たずに多少価格が高くても購入するという傾向が見られる。福袋も3千万円台の家の申込が5件出るなど景況感は良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・冬のクリアランスセールスタートを例年の2日の初商から18日スタートへ変更したことにより、スタートダッシュは厳しい状況であった。また、毎年このことではあるが、雪により客足が伸び悩んでいる。積雪は売上に直結する厳しい要因である。しかし、18日からのクリアランスセールの成功により、前年比100%まで回復してきている。客が期待する品ぞろえができていたことが勝てた要因の1つである。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・正月こそ悪かったものの、それ以降回復し、買上点数が前年比106%と伸び、それにつれ売上も106%と伸びて好調である。来客数及び単価は2、3%の上昇にとどまっている。近隣住民のリピートを増やすための品ぞろえが効果を上げた模様で、野菜、総菜等の売行きが良い。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・例年盛り上がりを見せる初売り商戦は、比較的盛況であり前年を超える動きになっている。初秋にはちょっと景気が後退したかと思っただが、まだまだ当地の景況感の下向きになっておらず、少し上向いてきたようである。ただし、成人式の日から積雪が多くなり、そこから客足がぱったり止まってしまった。初売りは良く、後半がちょっと厳しくなっているところだが、全体的には景気は良い。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・来客数はさほど変わらないが、買足し需要であっても長く利用できる高単価の商品が動いており、トータルで見ると売上高は上向いてきている。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・12月は初売りを待っての買い控えが多かった。1月に入ると初売り、成人式用のスーツを求める客の来店が多くなっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・9月のエコカー補助金終了後落ち込んでいた新車販売も、減税対象の新型車を中心に持ち直してきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・初売りでの販売実績が好調であり、そのままの流れできている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政権が変わったことにより、皆が新しい政権に期待している。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・初売りは前年に比べ活気があった。また気温が低く、積雪もある状況で長靴や防滑靴などが売れている。冬物在庫の消化も順調である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・3か月前と比較し、売上高の前年比が上昇している。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・政権も交代し、円安や株高になりつつあり、何となく客の様子も上向いているようで、少し明るくなってきている。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・多くの企業において、売上が前年超えとなっているため、購買意欲がおう盛である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・例年に比べて新規の加入者は大幅に減少している。そんななかで3か月前と比較すると、新規の加入者は減ってきているが、解約者も減ってきたため、トータルで見ると若干ではあるが良くなってきている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・例年より来客数が20%ほど伸びている。そして、良感触の客が多い。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・1月に入り、急激な寒さと悪天候のため、来客数及び来街者数が減少している。前年は多かった観光客も減少に転じているので大変苦戦している。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	来客数の動き	・特に変化は感じられない。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・低価格商品の販売量は横ばいで推移しているものの、高額商品の販売量は減少傾向であり、来客数も落ち込んでいる。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・初売りは今までにない悪天候で、入店客数、レジ客数共に前年を下回っている。クリアランス商戦は大きな盛り上がりはないものの、降雪で荒れた天候以外での落ち込み要因は無く、客の購買マインドは衰えていない。様々なギフト目的での来店も多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・初売り、セールなどイベントに対しての来客数は微増となっており、消費マインドも上昇傾向にあるが、実質は客単価の低下など、不要不買のベースは変わっていない。また、天候も大きく影響している。降雪量が前年の倍以上となり、足元が悪く、高齢者の来店数は減となっている。
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・食品セルフゾーンの来客数が落ちている。要因は消費者の生活防衛意識がより強くなっており、百貨店よりプライスの安い郊外の大手食品スーパーへ流れているためとみられる。
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・単発だが催事、イベントでの来客は多い。クリアランスや慣習企画、歳時、デイリーな部分での集客が少なく、消費がまだまだ活発化していない。ただし、美術、貴金属など高額品の微増が続いている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・青果物の売価が上がって、その分売上はプラスである。来客数や単価は下げ止まったという実感がある。ただし、上に向いているようでもない。下がったままである。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・買上点数の推移はやや鈍化しているが、平均単価は前年並みで推移、来客数の推移も変わらず、同じ状況が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は微減だが、買い回りにより買上点数が伸びない。チラシ日替りの強化、ポイント還元率のアップ、更にはチラシエリアの拡大と競争は一層厳しくなってきた。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・価格を打ち出したチラシ、週末のチラシでは客が来店し点数も動くが、その分平日の点数が前年同期に比べて伸び悩んでいる。
		スーパー（物流担当）	単価の動き	・前半は客単価も上がっていたものの、半ばより3か月前の状況と同じ動きとなっている。競合店のチラシ価格によって動く客の動きは変わらず、客単価の下落は止まっていない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当県の場合はどうしても放射能の問題がある。学校を卒業すると同時に県外へ行く人が今年もまたかなり多くなるとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・来年度も競争店の新規出店が加速する。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこ購入者の減少が続いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数はほとんど変わらない状況である。相変わらず建設業を中心とした職人の客は増えているが、一般のサラリーマンはやや厳しい状況なのか、買い控えが見られる。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冬物セール品の購買に関しても客のマインドはシビアで、単価も数量も前年に比べて落ちている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・取引先からはネット等で価格の比較をされ、値引きの要求が厳しくなっている。いかに付加価値を付けて販売するかが問われている現状である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天気が悪く吹雪いていると、外出も控え商店街を歩く人も少ない。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・政権交代により景気回復の期待感はあるものの、実際にはまだ現れていない。販売量も単価も上昇していない。
		乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・来客数も横ばいかそれ以下で推移し、市場が動いているようには見えない。政府の景気浮揚策も徐々に発表されているがしばらく先の話のようで、市場があわただしく動き出すまでに至っていない。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・大雪による自動車板金入庫、除雪車関連の補修が前年より多いものの、エコカーへの買換えの影響で車検台数は激減し、車両が新しくなったことにより補修車も大分減っているため、相殺されている。その他、土木建築や大工、屋根板金などは軽トラック、小型重機を使用しており、にわか排雪業が忙しいようである。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店への販売量が低いところで横ばいの状態である。イベント等で多少動くことがあっても一過性のもので、終わればすぐに戻るといった状況が続いている。雪の影響も大きく、人が動かないので物も動かないという悪循環になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・アベノミクス効果で期待感を持っている人はいる。しかし、疑心暗鬼になっている人も多く、もうしばらくは様子見をしているようである。特に中小零細の、輸出に関わらない企業を取り巻く状況は一層厳しさが増している。客の安価な商品への依存度は低下していない。
		その他専門店 〔酒〕（営業担当）	販売量の動き	・地元では豪雪等の影響もあって、新年会などの飲食店の動きが非常に悪い。家庭向けの商材も思ったほどではない状況である。2月の雪祭り等のイベント関連の動きに期待したい。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・販売数量の前年割れが続いているため、単価を下げる動きが出てきており、相変わらず収益を圧迫している。為替が円安に動いており、仕入価格が上昇傾向になっているため、更に収益が下がっている。販売が伸びていないため、価格転嫁の動きが業界全体で鈍くなっている。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・寒さが厳しいにもかかわらず、灯油販売が前年割れしている。消費者の節約意識が浸透している。
		高級レストラン （支配人）	単価の動き	・新政権になり株価安や円高の是正に期待感はあるものの、円安は原材料の値上げに直結し、給与が増えないなかではかなりの不安感が残る。客の落とす金額もシビアである。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・天候のせいなど様々な点を考慮しても停滞している。おそらく、レストランという業態が特に悪いのではないか。知り合いの居酒屋などはまずまずの集客だと聞いている。レストランという少し高級なイメージのある所は客が遠ざかっているようである。
		一般レストラン （経営者）	競争相手の様子	・政権が代わったことにより、良くなる雰囲気はあるのではないかと期待感が先行しているようである。しかし、同業他社と話をしても、景気の良さはまだまだ見えてきていないのが現状である。
		観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・年末年始は予想どおりの入込があった。しかし、内容を見ると特に1次産業の客の減少が目立つ。1日も早く、来客のバランスが良くなればと思っている。そうなれば、リピーターも増え、本来の姿に戻るのではないかとこのような状況である。
		都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・レストラン及びデパート地下のデリカ各店については利用人員が増加しているものの、消費単価については落ち込みが続いている。購入品目については、明確な目的を持って買物をしている傾向が見られる。特にレストランについては接待利用が減少してきており、ここへきて法人、個人共に消費が低迷しているのが如実になっている。特に忘新年会は法人の需要が大きく落ち込んだが、これについては選挙の影響が少なからずあったと分析している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・売上は変わらない。変わらないということは変化がないということである。ただ、雪が降ったときは結構乗客がいる。特に会社に行く時間や通勤時間は忙しい。雪が降るとお年寄りや病院に行かず、主婦は買物に行かず、みなさん夜は飲みに行かなくなる。また、雪の日は忙しい原因としては道路の状況が悪くなることに加え、普段車を出さない人が出するため、道が混むということもある。基本的には3か月前と変わらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・季節的に新年会や歓送迎会の期待をしたが、非常に少ない状態である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ニュース等では景気上向きの話もあるが、まだ実感が無い。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・来客数の動きは徐々に良くなっている。特に初売りは前年の30%増しである。携帯電話業界は今後、春の商戦が気になっていたが、1月のはずみで3月の需要を大幅に上方修正する見込みである。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・一部スーパーマーケット業では回復しているとの話は聞くが、全般的には変わらない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客からヒアリングした中身を見ても、景気が改善している内容は見当たらない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の購買意欲に変化は見られない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・本業の取引先からはあまり好況感を感じないが、政権交代による好況期待感は大い。また、連日報道されている円安株高は一長一短ではあるが、期待感が増すばかりである。ただし、現況では総じて景気が好転していると感じるに至らない。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・今月は9日間のみの営業であったが、前年比6%の減となり、単価は更に下がってしまった。本格的な寒さと成人の日の雪でやむを得ないところである。
		美容室（経営者）	単価の動き	・3か月前と同様、カラーやカットにプラスで何かをするということがなかなかない。それだけ財布のひもが固く、目的がはっきりしているということのようである。
		美容室（経営者）	単価の動き	・シャンプーやパーマ液材の値上げが続いているが、施術料金を値上げするにもなかなかできない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・震災による建て替え住宅関連の仕事は少し落ち着いてきている。その他の建物等の話は聞くようになったが、実際に着手するまでは少し時間がかかりそうである。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・受注量及び見込み数は上がっているが、競合も多く粗利が下がっている。
		その他住宅 [リフォーム]（従業員）	来客数の動き	・受付件数が減ってきている。
	やや悪くなっている	一般小売店 [スポーツ用品]（経営者）	販売量の動き	・店頭販売が前年比で15%位下落しているの、このまま店頭売りが下がっていけばかなり厳しい状況になる。郊外大型店の無料送迎バスは今日も立ち席が出るほど満杯である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・12月後半から雪及び寒さが続いている。また、消費税増税、電気料金値上げ等、具体的に支出が多くなるという部分は先の話だが、そういった不安が買い控えをさせている要因になっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・寒気の強まりによる野菜価格の高騰など、消費低迷要素が多く見られる。また、正月明け頃から、客の儉約ムードも強く、買上点数及び客単価の減少で売上が低迷気味である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・店内で買物をする様子を見ても、商品を買う買わないでかなり慎重になっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年から引き続き、来客数の前年割れが続いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・12月に近隣に新店ができたせいで来客数が減っている。当県全体のトレンドとしても前年を割っている。単価は変わらないが来客数が減っている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比7割の状態が続いている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・目立つ商品も無く、期待できる新製品の発表もないので、来客数は月を追うごとに減少しているようである。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比94%と減少している。電化製品では暖房コーナーがまずまず調子は良いが、テレビは相変わらず悪い。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・広告を打っても以前より効きが鈍く、来客数も減少し、客単価も下がっているため、前年売上をクリアできない。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・耐久消費財を扱っているの冬はそう動かない。季節商材の学習机やひな人形等々で売上をカバーしているが、少子化も相まって販売量が伸び悩んでいる。
		その他専門店 [パソコン]（経営者）	販売量の動き	・この時期にきて実働の販売数が激減している。周りからもそういった声が聞かれる。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	販売量の動き	・マスコミでは盛んに景気が上向きつつあるようなコメントがあるが、現状は相変わらず商品の動きが良くない。特に防寒衣の動きが少なくなっている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・年末などは人も金も活発に動いていたが、その反動で経済的に余裕がなくなり、財布のひもが固い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外食業界はおしなべて来客数が減っているが、当店においてはそのなかでも更に悪いようである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が例年の1月よりはかなり減っている。新年会はまだまだあまり無く、一般客も例年の1月よりはかなり悪い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・県外の復興支援の客も少なくなり、地元の企業の新年会も一部の業種を除き低迷している。かろうじて3が日及び週末が良かった。なお、正月の繁忙は連休続きで多少長かった。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・度重なる寒波で、客は外を歩くのを諦めている。早く帰って雪かきもしなければならぬし、寒さ対策もしなければならぬというひっ迫した心理状況に追い込まれており、当県が全体的に伸びて行かない理由となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・一般宴会の件数は、新年会を中心に前年並みに推移しているが、動員数は減っている。宿泊部門はオフシーズンということもあり稼働率は伸びず、レストランの利用も少なく、外来客も天候に左右され苦戦をしている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・被災地ということで前年来復興特需が続いていたが、個人、団体共に来客数が前年を割り始め、来月以降の予約状況も前年同時期と比較して少なくなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、宴会、レストラン部門のすべてで利用人数が前年より減少している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・旅行代理店においては先の予約や売れ方をみるとというのが通常だが、3月の春休みなどは予約の状況が前年より多少落ち込んでいる。
		タクシー運転手	単価の動き	・安い車を探して乗る客が増えてきている。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・3か月前は復興団体の利用があり、お土産需要も好調であった。年始より堅調に推移しているが、3か月前と比べると80%程度となっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・震災後、順調な回復の兆しを見せていたが、ここに来て来客数が前年を割る結果となっている。今のところ予約状況も良くなく、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・寒さや降雪量の多さの影響とみられるが、例年に比べ来客数が少ない。
悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・前年末から下がり気味で、年が明けてそれがかなりひどくなったようである。社用、個人用共に全部低調である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さが厳しく、来客数が少ない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年は例年になく1月の雪が多い。道路は凍ってしまうので早目に帰る人が多く、繁華街は夜になると人がほとんど出てこない状況が続いている。前年比で2割減、3か月前比で1割は確実に夜間の客が減っている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・前年12月中に作りきれなかった布団作りが今月に持ち越されたため、仕立ての仕事はあるが、二次製品の動きが止まっている。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の出店で売上が下がっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・寒い日が続き、積雪も多くて来店者数が少ない。冬物の品ぞろえも偏って、なかなか売上に繋がらない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・復興需要並びにエコカー補助金による先食いの反動が見られる。そして、寒さと大雪の影響により、来客数も大幅な減少を余儀なくされ、大型の初売りセールも不発に終わった。新年のスタート月の新車受注は前年に比べ約3割減、販売は2割減と大苦戦中である。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・当店は小さいので初売りもしていない。それ以外にも企画らしい企画も行っていないので、どうしても売上の落ち込みがひどい。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前月は思っていた以上に前年との差がなかったもので、1月の静かさには正直驚いている。景気回復につながる具体的な案がまだ発表になっておらず、将来に対する不安が大きくなってきている人が多いようである。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・予約数が伸びない。冬季はいつも苦戦するが例年以上である。休館日が例年より多く、単純に売上が少ない。運営で経費節約を心がけるも限界がある。
企業動向	良く なっている	—	—	—

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (東北)	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	それ以外	・政治的にも期待を持ってそうである。為替においても円安になり、製造業の我々においては何となく重しが取れていくようである。
		木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・住宅の需要が上向きとなっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・自動車部品については、需要そのものが増加しているわけではないが、為替がやや円安に動いたことにより、輸出環境は良くなってきている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・良くなった最も大きい要因は、円安による輸出業績の改善である。
		広告業協会（役員）	それ以外	・今年の初売りは前年を上回っている企業が多いようである。引き続き2～3月も新聞、テレビ、折込広告関係は引き合いが多い。また、イベント関係も活発になってきていることは景気の回復を示している。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・取引先からのヒアリングで積極的な話題が多い。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・円安基調が定着するとみて、企業の先行きに明るい展望を持ち始めている。
		司法書士	取引先の様子	・中古物件を中心に住宅の売買事例が増えている。
		コピーサービス業（経営者）	それ以外	・政権が変わり、政策も見えてきて気分が前向きになってきている。引き合いも多くなってきている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・非常に厳しい寒さが続いているせい、冬物の商品が非常に好調である。また、株高や円安の関係で明るい兆しが出ていることが販売量に結び付いているようである。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月末ごろより出荷が回復している。特に百貨店向けで数字の良い状態が続いている。飲食店向け、大型小売店向けの出荷は安定している。
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・「八重の桜」や白虎隊のドラマの影響で観光客が増え、それにあやかったグッズやお菓子などの販売も促進されており、景気が上向きになっている。
		変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
	食料品製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注量が伸びていない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）		受注量や販売量の動き	・特に役所関係の仕事の量が減っている。
	土石製品製造販売（従業員）		受注量や販売量の動き	・震災以降は修復作業に追われ、新しい事業は滞ったままである。
	電気機械器具製造業（営業担当）		取引先の様子	・単発の仕事が入っているところがほとんどで、仕事ごとざれとざれの状態である。
	建設業（経営者）		受注量や販売量の動き	・年度末で公共の営繕工事が出てきているが、前年度より多くなっている。
	建設業（企画担当）		受注価格や販売価格の動き	・国及び自治体から多く案件が出件されたが、現状では大きな変化はない。
	輸送業（従業員）		それ以外	・特定水産物は季節的なもので多少増加しているが、他の貨物に目立った変動は見られない。
通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き		・顧客の反応は冷ややかながら、受注量的には順調な推移をみせている。	
通信業（営業担当）	取引先の様子		・経費削減を優先している。	
通信業（営業担当）	取引先の様子		・政治次第である。	
金融業（営業担当）	取引先の様子		・今冬は降雪量が多く、除雪関連の需要は多い。設備投資に関しては介護施設及びメガソーラー以外は大きな変化は見られない。	
金融業（広報担当）	取引先の様子		・政権交代後の市場動向により期待感を持たれているものの、経済活動の動きとしてはまだ大きな変化は見られない。	
広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き		・政局の変化による経済効果はそろそろ始まっているようだが、売上に寄与するのは来月からではないか。そういった意味で3か月前と変わらない。	
公認会計士	取引先の様子		・クライアントの月次、決算状況を見ると、ある程度の売上、利益は確保しているが、小康状態が続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・相変わらず地場の住宅会社の受注が飽和状態である。飽和状態といっても好況を指すのではなく、供給力が追いついていないことを指している。質の低い住宅建築に関心が高まり、棟当たりの価格が低下傾向にある。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・前年秋に農協へ出荷したりんごの最終精算書が届いた。販売単価が震災前の7割程度であり、風評被害がまだに続いていることがうかがえる。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・作業機械用の軽油等の燃料価格が徐々に上昇してきている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の売上は前年を上回っていたが、前月、今月は前年を2%程度下回っている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・自治体を中心に地元向けの工事発注志向が顕著であり、大手業者向けの案件は少ない状況が続いている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要荷主の商品の輸送手段の一部変更により、当社の取扱数量の減少が見込まれる。なおかつ、物流コストの削減を求められ、これが長期にわたることが予想される。
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年12～1月は受注の落ち込みが顕著に現れる傾向があるものの、取引先の設備投資凍結等の影響により一層落ち込んでいる。	
雇用関連 (東北)	良くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・東京の顧客から復興関連の仕事がきている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・今の大学3年生の就職活動の動きでいくと、不人気な業種への応募が少なくなってきたしており、外食やアミューズメントの企業が説明会の集客を苦戦している。求職者である学生が選ぶだけの選択肢があるのではないかと推測している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの人材紹介依頼が増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・地元の景気を占う初売りは天候にも恵まれ、回復景気で沸いた前年を超えるのは難しいと思われていた予想を覆し、それを上回る売上が各流通が上げている。この傾向は求人にもいづれ反映してくると予想される。ただ、その後、大雪等にもあい、パーゲンが不発で、1月は前年並みのようである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・政権が変わり、円安・株高に流れている状況は、雇用主の採用意欲を刺激しているのは間違いない。ただ、多くの業種でまだ慎重姿勢は崩れておらず、雇用まで至っていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・12月の選挙以降、3か月前より前向きな広告出稿の話が増えている。既に半年後までの具体的な出稿の申込があるものもあり、やや景気が上向いている様子がうかがえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は引き続き前年比で増加しているものの、増加率がこれまでの2けた台からここ3か月は1けた台の増加率で推移しているのが気になるところである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は20か月連続で前年比20%以上の増加となっている。また、新規求人数は3か月連続で前年比2けたの増加となっている。
		変わらない	人材派遣会社（社員）	それ以外
	職業安定所（職員）		周辺企業の様子	・依然として従業員の解雇などの雇用調整の動きが続いている。
	職業安定所（職員）		周辺企業の様子	・年度末が近づき、業務量が増加している企業は見受けられるものの、例年並みまでには至っていない。また、一方では業務量が減少しており、再び休業したいといった相談も増加している。
	職業安定所（職員）		求人数の動き	・求人の増加傾向には伸び悩み感はあるが、依然高水準で推移しており、求職者の減少傾向が引き続きみられるため、有効求人倍率も1倍付近での推移が続いている。
	職業安定所（職員）		求人数の動き	・求人倍率は引き続き改善しているが、景気が上向きであるということを実感する場面は乏しい。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数は前年比で増加傾向が続いているものの、求職者数もここ数か月微増が続き、有効求人倍率が停滞傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・基幹産業である製造業の求人が前年同月の半分以下になっている。本来、不況に強いといわれる食品関係製造業も求人は前年同月より60%以上減少している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・12月は選挙関連受注がありながら売上及び営業利益が前年比でマイナスと低迷した。構成比率の高い中心都市において、好材料、新規案件に不足感があり、3か月前と比してやや悪くなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・運輸、運送関連の求人は堅調であるが、サービス業関連の求人が減っている。また、求人広告に表れないが介護関連は人手不足となっている。
	悪くなっている	—	—	—

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北関東)	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・当店は学校関係の商材が多いため、正月が過ぎて新学期が始まると、新しいウェア、シューズ等の掛け替えが結構あった。何となく良くなっており、客の会話も何となく景気が良くなるといった内容に変わってきているため、今後楽しみである。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・冬物の動きが良くなり始めている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・1月は天候の与件もあり、降雪の多い日は前年割れもあったが、トータルすると1割程度の伸びだった。買上1点当たりの単価が上がっているため、売上は上がってきている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比105%、来客数が前年比101%とやや良い感じである。今月は天気予報で大雪が降ることが分かっていたため、事前に品ぞろえの対応ができたことが売上アップにつながっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金の反動減から回復し始めている。
		乗用車販売店（統括）	競争相手の様子	・競合他社の販売が前年を大きく上回っている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・お金がないと思っても、意外と使うケースが増えてきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・正月の来客数は、例年より多かったが後半は増えていない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・新年会の予約が好調であった。総選挙などあって忘年会がかなり少なかった反動なのかもしれないが、久しぶりに少し良かった。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の後で、いづらか市民の心は安らいできたと思う。政権も交代したため、少し客の動きが活発になっている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・政権が代わり、周りの様子が明るくなってきている。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・同一地域にある同業者の最近の売上の伸長率から、やや良くなっている。
		ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	・当クラブもそうだが、市内のゴルフショップにおいても1月は、前年比で売上がやや伸びているという話を聞いている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・計画、設計の量は増え、一人で何物件も同時に処理しないと間に合わない状況となっている。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・政権交代後、景気感がかなり改善され、高額なものを買おうという顧客が増えた印象がある。物件の問い合わせも多くなり、全てがまだ成約には至らないが、間違いなく3か月前よりは増えている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・アパート、店舗、一般建築は、引き続き堅調に推移している。戸建住宅も消費税増税による駆け込み需要が少し出てきている。賃貸併用住宅の引き合いも出てきており、政府の税制面からの対策効果が少し出始めている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・大雪が続くなか、アベノミクスという触込みで、マスコミだけが景気の良い話をしているが、品物は全く売れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・新年になり、元気な幕開けとなると思われたが、日増しに寒さが厳しくなり、また、周辺の地域の高齢化が進んでしまったため、来店客は少ない。催事があっても、前年と比べても少ないようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・A V機器関連は相変わらず悪く、白物家電も変化がない。年度末を控えて、太陽光発電等で何とかカバーしている状態である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず商品の動きは悪い。消費税増税の絡みでリフォームなどの関係は我慢していた分を成約でき、着工の動きは見られる。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・クリアランスセールが始まり、衣料品関連は堅調に推移しているが、服飾関連の動きが悪く、トータルでは前年実績の確保には至っていない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・年初のクリアランスセール以降、売上の微減が続いている。食品や家庭用品などはほぼ前年ペースで推移しているが、売上シェアの高い衣料品が微減のため、店全体の売上を下げている、3か月前と比べても状況は大きく変わらない。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・今月は2度の降雪により、来客数を落としてしまった。しかし客単価アップにより、前年売上は確保できている。入店もここ数か月、降雪日を除けば、ほぼ前年並みで推移している。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・政権交代により、期待感が出ているものの、今月は寒波や降雪の影響もあって売上が上向いていない。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・政権交代からの景気動向は、食品関連にはあまり関係がないように感じる。
		スーパー（店長）	単価の動き	・数か月間、客1人当たりへの販売単価に変化が見られない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が毎年減少傾向にあり、今月も減少している。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・三が日は福袋の売上が前年を上回る動きがあり、前半は景気回復の兆しをかい間見せたが、1月14日の大雪以降は不振が続き、結果として前年並みの推移である。マインドは改善しつつも、実需はまだこれからという感じである。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・例年より降雪が早かったせいか、スキーヤーが多く来店している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・正月に関しては、他県からの流入が例年より多かったという声が多い。しかし、当社4店の平均来客数は前年比98%であり、3か月前との比較においては、大きな変化は見られない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・冬物処分でチラシによるセールを行ったが、見るだけの客が目につき、値引きしても本当に必要な物しか購入しない傾向がある。財布のひもが固く、せっかく来店してもなかなか購入に至らない。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・購入商品の構成比を前年と比較すると、テレビ関連の商品において地上デジタル放送化による需要の先食いをした傾向がはっきりと出ている。他の商品はほぼ前年並みの動きを見せている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・1月中旬より、車購入に向けての商談が若干増加した。しかし、ガソリンの値段が高くなり、多くの人は様子見という感じを受ける。
		乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・円安、株高ではあるが、支出を抑える傾向にあるため、依然として消費低迷が続く。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・1月に入り降雪の影響もあるが、とにかく新車の販売は全く伸びていない。中古車は、毎月安定して何台か出ている。2、3か月前と比べても同じような中古車の動きであり、新車は相変わらず動いていない。
		住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・消費における強い節約傾向は、年が明けても変わらない。ガソリンや灯油の値上げもあり、消耗品に対する節約意識はやや高まっている感もある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年同月と比べ、多少新年会の予約は増えた。1割弱の売上増ではあるが、全体では前年並みである。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ランチは変わらないが、ディナーの客数が少なく、客単価が非常に悪くなっている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子を選択したが、すべての回答理由が当てはまる。本当に悪いまま、変わらない状態である。何か良い策があったら教えてほしい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・観光はオフ期のため、冬期の平日は特に閑散としている。週末の稼働は良いが、前年同月比でもほぼ前年並みである。	
		都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・正月明けのビジネスの動きがまだまだ弱く、例年より来客数が多い。新年会を含め、会食の予約も例年より2割減である。	
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・売上はまだまだ前年には至っていないが、今年に関しては多少景気が良くなっていくのではないかと。しかし、非常に難しいところである。	
		都市型ホテル (営業担当)	単価の動き	・1月の販売は相当厳しい状況である。しかし、様々な景気の指数が良くなっていることもあり、少し安ど感がある。また次の好調さにつながってほしい。	
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・政権交代、円安基調、株価の上昇などにより、以前よりは来店客の数に勢いが出てきているが、連休等に限られており、底上げまでには至っていない。	
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・販売量が横ばいである。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらずタクシーを利用する人が少ない。特に、深夜に人通りがなく、街のなかはひっそりとしている。	
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・販売量に変化はない。	
		通信会社(販売担当)	販売量の動き	・販売数が前年比でほぼ横ばいである。	
		通信会社(局長)	販売量の動き	・円安、株価上昇など景気回復に期待が高まる一方ではあるが、実態消費は、客の様子や販売を見る限り、3か月前と比較して特に変化していない。	
		競輪場(職員)	お客様の様子	・来場者数、購買単価共に、それほど変化が見られない。	
		その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	単価の動き	・通常、客数×単価=売上だが、当店の場合は、客数×滞留時間=単価になる。この単価が相変わらず低いままで止まっており、売上も上がらない状況が続いている。	
		美容室(経営者)	来客数の動き	・新年の成人式も前年より売上は減少しているが、客の話題でも新政権の経済政策が挙がる。期待感があるのだろうが、直接売上増とならないことは一抹の不安材料である。	
		その他サービス[立体駐車場](従業員)	お客様の様子	・来客数はほぼ横ばいであり、販売量、単価も横ばいでほとんど変わりはない。年末年始の売上増加については例年並みであるため、横ばいである。	
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・一時は新政権への期待もあつたか、問い合わせもあつたが、1月ということもあると思うが、その後動きが止まってしまった感じである。	
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・特別な変化は見られないが、土日に限らず平日の来客数が多い傾向にある。契約率も上がっている。	
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・例年より降雪が多いことや寒さなど、気候的な要因等から動きが鈍い。	
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・政府はデフレ脱却に動いているが、地方にはまだ何も無い。逆に消費税増税による心配は、テナントビル等から、消費税分の値段を負けるということがかなり出てくると思うため、更に家賃が下がるのではないかと、またデフレ傾向になるのではないかと懸念している。今後の土地に対する政府の優遇措置等がいろいろ出てこないか、不動産はやはりまだまだ動かないのではないかと。	
		やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・地元の大手企業から今までにない大量の注文が入ったが、中小企業の動きは以前と変わらない。アベノミクスに期待している企業も多いようである。
			商店街(代表者)	来客数の動き	・寒さが原因なのか平日の人出が非常に少ない。
商店街(代表者)	販売量の動き		・例年にない大雪に見舞われ、関連商材は少々売れたが、その前後はばったりで、全体として見るとやはり下降線である。		
コンビニ(経営者)	販売量の動き		・1月は正月明けということもあり、例年、販売量はあまり良くないが、今年は特に寒波が厳しく、降雪も多いため、客数が若干少なく、販売量も少なくなっている。		
コンビニ(経営者)	販売量の動き		・原因不明だが、タバコの販売量が前年を1割も下回っている。当然、客数も前年割れしている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・来客数は、このところ大分減ってきている。1日100人程度減少しており、売上がかなり落ちてきている。周りで大きな変化があったということはないため、その原因が今一つ把握できず、問題である。		
		衣料品専門店(販売担当)	来客数の動き	・年末から続いた寒さが継続しており、それも原因とは思いますが、とにかく人が出てこない。当店は中心部にある路面店であるが、人が出てこないため、本当に困っている。相当な危機感を持って取り組まなければならず、ひどい状況である。		
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・エコカー補助金の終了から販売台数は伸びていない。		
		住関連専門店(経営者)	販売量の動き	・日経平均株価等での景況感は上がってきているが、実際の収入による購買意欲は、まだ慎重に様子見をしているようである。単価の安い商品は底堅く推移しているが、高額商品への動向には至っていない。		
		高級レストラン(店長)	販売量の動き	・正月は多少集客はあったが、正月明けから月の後半にかけて売上が極端に落ちている。特別な時以外、外食は極端に控えられている。		
		旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・この時期は比較的集客の少ない時期ではあるが、前年同時期と比較しても、来客数が減少している。また、客が来店しても成約が少ない。年末ぐらいから客足が非常に鈍く、今月に入っても戻ってこない。		
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・不景気で新年会があっても節約のため、タクシーの利用が少ない。特に深夜の動きが悪く、前年同月比13%の減収である。		
		通信会社(経営者)	単価の動き	・販売競争が激しく、仕入価格の高騰を販売価格に転嫁できない。		
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・当地域の製造業は仕事の波が激しい会社が多く、特に食品に見られるが、今日早朝より召集をかけられたかと思ったら、明日は強制的に休みを取られるような事例も当たり前となっている。多くの社員は派遣であり、ものを言えなく賃金も押さえこまれている。		
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・冬季閑散期ではあるが、来客数に弱さが見える。		
		遊園地(職員)	来客数の動き	・中旬の大雪による集客減が影響し、3か月前と比較すると来客数の動きは鈍くなっている。		
		ゴルフ練習場(経営者)	販売量の動き	・依然として必要最低限の購買で、値段に敏感である。		
		美容室(経営者)	来客数の動き	・成人式の日以降、来客が非常に少なくなり、売上も減少が続いている。客単価が少しづつ下がっており、客の節約傾向が続いている。		
		その他サービス[清掃](所長)	それ以外	・円安が影響しているのか、灯油も3か月前と比較すると値上がりしている。近くのスタンドの灯油価格は1リットル当たり3桁の値段になっており、家計に影響し、悪くなっている。		
		悪くなっている		一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・当地域は降雪が多く、客も少なくなってきた。観光客の動きや買上もなくなり、かなり激減している。
				スーパー(商品部担当)	単価の動き	・特に年末の消費傾向が年々変化している状況のなかで、高価格帯であるぜいたく品の落ち込みが目についた。
スーパー(経営企画担当)	来客数の動き			・11月までは月を追って回復してきたが、12月は客数が減少し、1月も同じトレンドで推移したため、客数減分だけ売上がダウンした。		
ゴルフ場(支配人)	それ以外			・正月期間中は営業できたが、その後大雪によるクローズが長く、人件費削減のため、社員、アルバイト等に自宅待機をさせている。		
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業[環境機器](経営者)	受注量や販売量の動き	・環境機器装置、主に行政納入のスプレー缶、ライター処理装置は、3～10月が製作納入時期である。また今現在、半メガソーラー太陽光発電3か所設置工事の電力会社への申請中であり、来月ぐらいから設置等で忙しくなる。電気工事等地域活性化により、地元企業に貢献している。		
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度末までの販売促進予算を、削るから使い切るへという声が増えている。		
	やや良くなっている	金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・特装車両であるコンクリートミキサー車は復興需要が続く、需要に応えられるよう、増産する予定である。産業機械であるコンプレッサーも2、3月で増産の予定である。		



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・宝飾業界では本年最初のビッグイベントが1月末開催された。卸問屋の仕入意欲はまだ鈍いものの、小売店関係者には積極的に商品を仕入れる姿が見えた。全般的に売上は前年を上回り、明るい兆しが見えかかっている。
	変わらない	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	競争相手の様子	・見積競争では、競争相手がかなり安い金額を出してきている。採算が合うか、ぎりぎりかというような感じである。
		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・特注品、店頭販売品共に受注状況は変わっていない。
		窯業・土石製品 製造業（総務担 当）	受注量や販売量の動き	・悪い状況に変わらないが、生産が間に合わず、残業を行っている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず動きが悪い。幅広く仕事を確保している。周りの加工関係の製造業は、仕事はあるが単価が安く、忙しいのにもうからないのは初めてと嘆いている。他の製造業は、仕事が少ないと嘆いている。
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・この2か月は、受注量、販売量等が若干落ちている。
		輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカーからの3か月前の生産見通しと、現況を比べると、海外が6割、国内が4割である。国内は、全体的に回復にはまだ至っておらず、横ばいの状況である。海外は北部を中心に、売上が増加しており、量的には若干伸びがあるが、全体的には収益がまだまだ非常に厳しい状況である。
		金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・観光業については、この時期例年は中国が旧正月で中国旅行者が多いが、今年はほとんどない状況である。
		不動産業（管理 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・手間のかかる面倒な仕事は増えているうえに、余計なサービス仕事もついでにやってほしいと言われることが多くなってきている。実際はその分を請求できないため、売上は横ばいである。
		新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比93.0%となっている。正月の元旦、3日付も前年を割り、地域景気の低迷がうかがえる。降雪が度々あり、除雪道具、融雪剤等の冬物の売上は伸びているようだが、衣類等は前年並みと聞いている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・例年1月は稼働日数が少ない。今年は特に少なく、はっきりとした数字は出てきていない。
		経営コンサル タート	取引先の様子	・正月の月ということ、主要な商業施設などにやや顧客の戻り感があり、建設業も受注が安定しているが、地域経済全体の浮揚感はない。
		社会保険労務 士	取引先の様子	・年末のカレンダーや年始の粗品の配布を再開した事業所もいくつかあるが、電気代節約のため事務所内が寒いので、ジャンパーを着ながら仕事をしている事業所もある。
	やや悪く なっている	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・高速道路のトンネル事故に加えて、ガソリンの高騰、降雪の影響で、12月同様工場見学数は激減している。
		食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売量も含め、売上が昨対で50%落ちている店もあり、非常に厳しい。
		化学工業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・製品の出荷が低迷したままで、新しい商談が全くない。利益がなくても損をしなければと、小さく細かな仕事も多くこなしている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末まではかなり受注があり、各部門も忙しかったが、年が明けてから大幅に落ちている。特に自動車関連、医療機器関連が、生産調整で仕事がなくなってきている状況であり、かなり悪い。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先のメイン機種、モデルチェンジが遅れており、毎月の受注が減少しつつある。
		輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・年が替わり、物量が多少落ち込んでいる。新年度に向けた生活用品である白物家電や、インテリアなどの荷物も動き出しているが、例年並みの物量となっている。目立つのはインターネット販売等向けのインテリア、エクステリア、ガーデニングといった大物の荷動きが増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・欧州の景気低迷や中国の景気減速により、製造業の海外受注が減少している。また、県内需要も弱い動きが見られる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末年始の慌ただしい影響もあるが、受注量、販売量共に下降気味である。
	悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安、株高が進み世の中の雰囲気は良くなってきているが、当然ながらすぐに当社の仕事に反映されるわけではない。現在の仕事量は更に減少しており、今月から本格的な残業規制等を実施すると共に経費の見直しを再度行っている。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況は前年比10%以上落ち込んでいる。特に民間工事の落ち込みが影響している。営業の強化を考えなければならない。
雇用関連 (北関東)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・円安による輸出企業の収益構造改善やそのことを受けた株高によりやや良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・以前よりは少し良くなったが、どの会社が忙しいということもなく、あまり変わらない。
		人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・食品関連の派遣社員採用が一時的に増加したが、自動車関連は減少した。全体的に変わらない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は、前年比25.3%増となっており、年末の大量解雇と事業所閉鎖等が影響しているが、有効求職者数は、前年比2.4%減となっており、全体的に大きな変化とはなっていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・先月12月の新規求人数は、前年同月と比較して2.4%の微増であった。求人窓口を訪れる事業所担当者の動きを見ても、増えている感触はない。年が替わり、経済面では円安の動きが明るい材料のようであるが、雇用面への影響が現れてくるには、まだ時間がかかりそうである。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、工場閉鎖、一部社員のリストラが相次ぎ、活性化してきた土木、建築でカバーできない状況にある。
	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・学年末に向けて求人は出てきているが、職種的に偏りを感じる。また、事務系などの求人は依然として欠員募集の傾向が強い。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・製造業の自動車関連や電子関連の募集傾向は、ごく少なく、住宅関連も非常に少ない状態である。サービス業の介護関係の職員等や、販売員の一部、衣料品販売と食品販売の募集は活発さがある。しかし、ここ最近、灯油、野菜も幾分値上がりしつつあるため、消費の低迷が浮き彫りになってくるのではないかと思うが、販売員はこれから、春物、新学年、新学期に狙いを定めているようである。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・今年に入り、円安と株価上昇で景気も良くなるように見えるが、輸出産業は良いものの、中小零細企業の景気は決して良くない。また今月も求人広告の掲載企業は少なく、依然として厳しい状況である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・取引先の撤退などで広告収入の減少が続いている。
職業安定所（職員）		周辺企業の様子	・雇用調整助成金の計画、申請などがあることや、雇用保険受給者の滞留が感じられる。また、先般、大手電機メーカーのリストラの新聞発表があり、管内の事業所でどのくらい離職者が出るか気になっている。	
悪くなっている	—	—	—	

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (南関東)	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・新政権になり、来街者の消費マインドが明らかに良くなっている。株価も高いため、クレジットカードを使うような単価の店は、カードの取扱高からして少し良いようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	お客様の様子	・新政権になり総理が積極的に行動しているせいか、消費者の気分も違ってきているようである。不安もあるが、期待と節約疲れなどが感じられる。商品の購入以前の細かい修理などでも渋い感じだったが、いろいろと用件をよく依頼されている。LED照明やエアコンが動いている。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	それ以外	・外商先の法人や官庁関係は、投資が少し行われるようになってきたせいか、若干、案件が出てくるようになってきており、徐々に良くなっていると思う。ただし、個人客に関しては、更に財布のひもが固くなったという感があり、両極端になってきている。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・冬物重衣料が11月に前倒して売れた関係で、衣料品関係は苦しいが、宝飾関係の高額品が前年比2桁増の売上となっている。また、催事の北海道展でも超高額弁当が売れるなど絶好調である。全体的に、政権交代後の経済政策に対する期待感からか、数か月前までのように必要に迫られて購入する単なる実需だけではない購買傾向がみられる。
		百貨店（店長）	お客様の様子	・アベノミクスの効果があると思う。株高もあり、高級品の売行きに良い兆しが見える。
		スーパー（店長）	単価の動き	・3か月前から寒くなり冬物が売れ出した。現在も寒い同様な売行きだが、客単価が3か月前より上がってきている。今までの閉塞感から少しぜいたくをしようかという購買の動きがみられる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・昨年は競合店が2店舗出店するなかで相当苦戦はしたが、10月以降少しずつだが客が戻って来ている。また、客の買い方が特売品だけ買って帰るのではなく、定価品から安い物まで買う客が徐々に増えてきており、3か月前と比べてやや良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・売上にさほど変化はないが、以前より販売量が大幅増加してきており、単価の下落を販売量で補えるようになってきている。価格に対してのシビアさはあるものの、政権交代の期待感もあり、先行きの不安が以前より薄れてきている様子である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・10月と比べると、来客数が若干ではあるが上向きになっている。株価上昇も含め、少しプラス要素があるのではないかと。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・バーゲンにより来客が活発になっており、前年に比べて来客数が多い。買う買わないは別として、来客数が増えていることはプラス要因である。
		衣料品専門店（営業担当）	単価の動き	・今年は寒さが厳しいため、防寒衣料がよく売れている。
		家電量販店（営業統括）	単価の動き	・1月に入り、若干、来客数に陰りが見えてきている。反面、客単価は微増だが上がっており、高額な時計や一眼レフデジタルカメラなども引き続き売れている。2月は春節があり、中国からの観光客がプラスオンの売上を作り出すと考え、引き続き客単価は上昇していく。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新年の初売りも盛況で、その後も来客数が増えている。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・徐々にではあるが来客数、販売量共に増えている。エコカー補助金はなくなったが、一部車種には免税制度があるため販売の決め手にはなっているが、台数が限られており、今ひとつ伸び悩みの感も否めない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量も増えているが、来客数が増加傾向にあるため期待したい。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・昨年の1月は、その前の12月からエコカー補助金が復活し非常に好スタートとなったが、今年度も受注量が中旬以降に若干の失速が見られたが、目標の95%強となっている。大分上向ってきたようである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	それ以外	・通勤時における特急やグリーン車といった特別有料車両の着席率が顕著に伸びている。時間帯によっては着席できないこともある。今まではそのようなことはなかった。
		高級レストラン（店長）	単価の動き	・年末までの景気停滞の雰囲気、年が明けて明るい雰囲気変わったようである。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・昨年の暮れはなかなか停滞感が打破できず、選挙までは一つの動きだったが、選挙が終わり政権交代してからは来客数など全体的に少し増えてきているように感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・メニューの変更に伴い、単価を上げてみたところ3か月強で定着した。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宴会関係は、他の施設や店舗で実施していた新年会を新規で2件受注し、また先の問い合わせや仮予約も特に減少していない。婚礼については新規来館がどうしても減少傾向にあるが、数々の手を打ち決定率を上げて宴会全体では前年をオーバーしている。また宿泊関係は客室の単価を上げた影響で稼働率は若干下がったが、売上は前年を確保できている。レストランだけは来客数が減少しており、特に平日の夜の接待関係の来客数が大きく減少して前年比96%の見込みである。
		タクシー運転手	それ以外	・アベノミクス効果が円安、株高をもたらしたのか、多少ではあるが今までの重苦しさが和らいできたような年の始まりである。タクシーの街角景気は、週末が良い。特に金曜日の深夜0時を過ぎてからが忙しく、遠距離客が増えてきている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・商品を選択してもらい際に高額な商品を勧めても、受け入れられる割合が若干であるが増えてきている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・少しずつではあるが、案件の受注が決まる確率が高まってきている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年1、2月は加入数が減るが、今年は順調に推移しているため良くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・契約数からみると、月前半は数字が落ち込んだものの後半から前年末並みとなり、戸建、集合住宅共に持ち直している。
		通信会社（管理担当）	それ以外	・政権交代による景気回復策の影響で、やや良くなっている。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（店長）	単価の動き	・客単価が目に見えて上昇しており、下振れすることがほぼなくなってきた。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の買い回りが非常に増えている。
		その他サービス [福祉輸送]（経営者）	お客様の様子	・自動車販売業においては、9月にエコカー補助金が終了して以来、受注が落ち込んでいたが、新車の発表により、当グループでは大型車が非常にヒットした。そのため、希望的観測であるが、やや良くなっている。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・政治への期待感があると思う。当社では行政の委託業務が年々定着しており、今年も仕事が終わらないような状況で進んでいる。また新しい民間の仕事もやや動いてきていると感じる。いろいろ出向いての営業活動をどんどん進めている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来場者数が、例年の1月より多い。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・12月から客の動きが活発になり、反響も良くなってきた。契約も入ってきており、3か月前よりも良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・建物の契約棟数が前年比を上回ってきている。年が明けて消費税増税を意識したユーザーが決断し始めたようである。ただし、これは契約であり、売上についてはまだ横ばい状態で利益にはつながらっていない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・年明けからマンション販売センターの来客数が増加している。
変わらない	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街のなかでも、同業者が撤退することで、残った同業者に多少なりとも客が回り、売上が少し良くなっている業種もある。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・マスコミでアベノミクスにより景気が浮揚するかもしれないと毎日連呼しているせいか、商売関係者も理由もなく景気が良くなるのではないかと期待してしまうのが現状である。果たして、私たちのような地元の商店街にその恩恵が届くのはいつのことだろうか。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近天候が悪く、雪が降ったりすると客の出足が途端になくなる。こういう天候が続いているために、かなり売上の落ち込みが見られる。	
	一般小売店 [家具]（経営者）	来客数の動き	・相変わらず来客数が非常に少ない。3か月前と比べてもほとんど変わらないが、特に1月は非常に少なくなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・政権交代により、経済に関することが強調されているが、我々末端までそれが浸透するには、相当時間が掛かる感じがする。期待はあまりしていない。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	来客数の動き	・来客数は、3か月前の前年比と今月の前年比をみても、ほぼ同じで増えておらず、やはり少し厳しい。駅前の商店街だが、どの地方都市も同じで、やはり厳しい状態が続いている。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	単価の動き	・先月末に店内のリニューアルを行い、甘味のイートインを開始し、単価は低いが来客数は多い。ショップも前年比で客数、売上共に伸びている。しかし、個人消費はあるがギフトの購入についてはまだ消極的である。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・初商は昨年より来客数が多く、福袋中心に盛り上がったが、セール品は不調で全体的に客単価が下がっている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・円安や株価が上昇しても消費の回復には程遠い。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・基本的には、前年を追いかけていって少し足りないという状況が、この1年間全く変わっていない。来客数、売上高についても97～98%でずっと推移している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・客は必要以上の物を決して買わない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・変わらず停滞している。クリアランスセールでの大きな盛り上がりもなく、来客数も減っている。多少、寒波の影響でコートなど防寒商材に動きはあるものの、厳しい状況は変わらない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・初商からクリアランスセールに掛けて、衣料品、雑貨については前年比2桁の伸びを見せ、好調に推移している。一方、食料品の動きが悪く、年末から続いている厳しい状況は変わらない。ただし、店舗全体としては、一時的であるにせよ前年を捉えていることは今後の判断においては好影響と考える。食料品の動向により店舗が大きく影響を受けるため、今後も注視していきたい。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・初商から月央までは堅調だったが、月央の大雪で非常に大きな打撃を受け、その後もそれを取り戻すまでには至っていない。
		百貨店（販売管理担当）	お客様の様子	・例年以上に価格に敏感な客が多く、クリアランスセールでも20～30%オフの商品動向は極端に厳しい。一方、クリアランス除外品でも、色やサイズがそろっており、客の選択の幅が広い物は好調に推移している。そのため、好調と不調が同水準であるため、3か月前と状況は変わらない。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・クリアランスセールは想定より好調に推移しているが、前年を上回る勢いはない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・12月は少し良かったが、1月はまた10、11月と同じような状態になっているため、変わらないと判断した。来客数がなかなか増えず、かえって減っている状況である。寒さと肝心なところで雨に降られるということもある。また、競合店の影響もあるため、なかなか厳しい状態である。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・競合店の売価設定、品ぞろえから見ると、大幅な売上アップや客数増ではなく、各企業とも利益の確保を中心にした品ぞろえ、また、販売量等が見られる。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・来客数が前年比約5%落ちており、買上点数も約3%落ちている。また、単価も競合店との兼ね合いにより、前年よりも下がっているため、売上の的には厳しい。価格が下がっている割に客の財布のひもは固く、非常に低迷したなかを横ばいの状態であり、上向きではない。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・徐々に客数、単価共に上向き始めてきているものの、先日の大雪の影響が、今月はまだ尾を引いている。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・年末より客数と客単価がダウンし、前年を割っている。また、14日の成人の日にも県内でも積雪となり、商品の納入遅れや未入荷が発生し、3日間来客数に影響した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（ネット宅配担当）	単価の動き	・競合店の出店後、業績が回復しない。特に夕方からの販売が弱く、店舗でロスが多く発生し、利益を圧迫している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・セール頼りの営業が続き、単価の低い商品の比重が増し、客単価が全く伸びないため、景気回復の兆しが見られない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・正月の来店数なども含め、1月は102%前後を推移している。これといった変化もないような例年とおりの1か月であった。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・依然として客の買上点数など、なかなか増える傾向にない。
		コンビニ（商品開発担当）	競争相手の様子	・競合他社を含めて販売数に伸び悩みがあり、キャンペーン等の反応も鈍い。
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・客単価は前年と比べても変わらないが、来客数の減少が改善傾向にないため、厳しい状況は変わっていない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年、年明けからバーゲンチラシをまいて、売出しを企画している。今年は寒さのため非常に好調で、中旬の12日頃までは昨対をオーバーして非常に良かった。しかし中旬以降、雪が降ってからがたんと落ち込み、結果的には昨対プラスマイナスゼロである。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・冬物セールは前半は好調であったが、中盤以降は数字が悪い。昨年より寒い気候のため来客数が減っている。客自身、特に欲しい物がない様子で、値引率にもシビアである。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・現時点では政権交代など市場の動向において客の様子は変わりなく、景気は横一線の状態である。
		家電量販店（統括）	来客数の動き	・商品単価が少しずつ改善されてきているが、顧客の来店は非常に少ない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・当社は自動車の整備と販売をやっている。整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。前年度比3割減となっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・今月については、昨年からの不景気の状態が続いており、大きく販売量も変わっていないが、マインド的には新政権になり、様々な投資をするというなかで、需要が増えてくるのではないかと思う。業界全体もそう思っており、また当社としても、事業計画を修正してプラスアルファで持っていきたいということで今取り組んでいる。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	販売量の動き	・昨年から行っている業務改善に少し効果がみられ、見やすくなったことにより購買点数が上がってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・やはり3か月前と比べて、今は客数が少ない。サラリーマン、会社員等が少ないのが顕著である。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の10月、10月1日～22日の前年比は、売上95.2%、客数92.8%である。今月、1月1日～25日までは売上92.9%、客数93.0%である。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・とにかくひどい売上で、もうやっていけないと結論を出し、3月には閉店すると決めた。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会については、新年会シーズンのため例年同様の売上を何とか確保できたが、宿泊、レストラン、婚礼については、例年をやや下回る状況である。相変わらず波があり、景気が上向いているとは言いがたい状態が続いている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・円安の影響が一般消費者にはなかなか回ってきていないような気がする。客も何となく不安を感じているようで、なかなか旅行気分になれないようである。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・広告掲載後の反応が悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は昼間の利用が多く、駅から会社、会社から駅と利用者が多い。新年のあいさつを兼ねた動きもあると思う。また、病院の通院客も重なった。新年会後の利用はあまりなく、終電前に帰宅しているようである。
		タクシー（団体役員）	お客様の様子	・新年に入り、各企業、団体の賀詞交歓会や新年会などは行われていたが、タクシー需要には結び付いていない。3か月前と比較するとやや悪くなっている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・新商品は堅調に顧客を獲得できているが、テレビ、インターネット、電話の3サービス共、新年明けてからの顧客の獲得が出遅れており厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新築、既存住宅共に空室や売れていない建物が多く、見込客が増加していない。サービスの加入者である顧客は、低価格商品を選ぶ傾向があり、消費意欲はまだ増大していない。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・例年1月はケーブルテレビの契約数が年間でも低レベルとなっており、今年も同様の傾向にある。ただし、インターネットの契約は比較的好調であることから総ARPU（加入者一人あたりの月間売上高）は例月とあまり変わらない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入状況や加入コースの選択については、サービス内容よりも、毎月の料金が少しでも安いことを最重要視する傾向が顕著である。既存加入者のコースのランクダウンも増加する傾向である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前は秋のトップシーズンの始まりであり、また、1月は正月のため来客数が2番目か3番目に増える時期でもある。そのため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・新政権になり、公共事業の拡大に伴い大量に業務発注されるといえるが、それが身の回りの景気へプラスの影響で出るにはまだまだ先であると思う。それだけ、冷え切った時間が長かったと思う。また、公共事業拡大により、福祉、年金への財源確保が一層困難になり、先延ばしになるのではないかと不安はある。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・1、2月は冬季閑散期のため料金を半額と安く設定している。雪のためクローズ期間も3日あったが、来場者は平年並みである。
		パチンコ店（経営者）	単価の動き	・店の中のコーナーに低玉貸しという安く遊べるコーナーがあり、そのコーナーは順調だが、やはり普通の4円パチンコのコーナーは、特に朝は低玉貸しの半分もいないくらいである。やはり単価が安く遊べるほうに客が流れている。
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	販売量の動き	・通常であればあまりあり得ない、個々の単発的な要因により、販売量が落ちてしまった。本来であればやや上向きとの期待感があったが、全体的に3か月前と比較してあまり変わらない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・コンサルタント業務のみ多くなり、ただ忙しく、実際につながるものはない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・この時期は例年だと民間の動きがあるが、今のところ相談すらきていない。
		設計事務所（職員）	それ以外	・具体的な状況の変化はない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・土地活用や相続税対策を目的としたアパート、貸店舗、貸事務所等の建設の受注はますますであるが、自己居住用の戸建住宅は顧客の動きが鈍い。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・土日の客の対応はますますだが、平日は来客数が非常に減っているのが現状であり、本当に静かな平日になってきている。また、物の動きが非常に悪くなっているのを実感している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・周りの声は良くなっているように聞こえてくるが、現実はまだ厳しい。
		一般小売店 [和菓子] (経営者)	来客数の動き	・今年はカレンダーの日並びで正月が短く、正月の需要がかなり落ち込んだ。また大雪による来客数の減少がかなり響いている。
		一般小売店 [家電] (経理担当)	来客数の動き	・液晶テレビなど主力商品がないため、家電販売店への来店の必要性がなくなり、家電販売の縮小傾向が続いている。そのため、来客数が減少している。
		一般小売店 [文房具] (経営者)	販売量の動き	・今月はこれという売れる商品がない。全般的にダウンしており、売上も落ちている。
		一般小売店 [茶] (営業担当)	単価の動き	・お茶の売上高を左右する自動給茶機の維持管理コストについて、オフィスのコスト削減がますます進んでいる。今までは、定期保守の点検や清掃での利益が売上高を維持していたが、このところ無償の競合他社が増えてきており、お茶屋企業同士の利益減少の競い合いになっている。
		百貨店 (総務担当)	来客数の動き	・景気は少し上向きの状況だが、当店においては全くそのプラスが反映されておらず、むしろ来客数は低迷している。これは中心市街地の疲弊といった景気以外の要素なども影響しているが、株価の上昇が消費には向いていないのが現状である。今後も注視していかなければならない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・12月と1月では、客数どうしても12月が多い。1月になると少々減っており、この状況はここ数年間続いている。どうしてもこれは難しい面があり、やや悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店の近隣では新しいビルの建設工事が終わり、1階に競合店ができたため過当競争になっており、客単価は下がっていないが、来客数が前年度を約10%下回っている。来客数が減った分、売上が落ちている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年より単価が約10円下がってしまっている。景気回復に向かっているとは思いますが、消費税率が引上げられるまでである。その後はまたとても不安である。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・初売りから13日までは寒かった割に晴天続きで、バーゲンも順調であった。しかし、14日の雪から来客数、売上共に激減し、コート、セーターの売上予定が、ベスト、カーディガンに変わり、売上予想はかなり下回った。3か月前と比べても数%落ちている。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・今年は本当に寒く、1月になり冬物重衣料の動きがとて良くなっている。粗利もしっかり取れるよう、バーゲン価格になっても現金仕入で少しでも安く仕入れ、利益が取れる状況になり、常に努力をしているが、前年比94%で終了している。とにかく2桁落ちは免れたという状況である。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数はある程度あるが、その来客数に見合う販売量が見込まれていない。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	販売量の動き	・売れるタイトルと売れないタイトルの差がますます広がり、裾野が狭くなっている。年末に発売された新ハードも、かつてのように勢いが継続していない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・正月三が日の販売額は前年比で減少した。その後、少しずつ取り返していたが、成人の日の大雪により、ここでも減少した。それを取り返せないまま月末を迎えている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・以前は職場旅行があったがこんな景気だから最近はない、と営業先で言われることが多い。現在の事業で精一杯で旅行どころではないといった印象を受ける。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内団体旅行の動きが今一つ鈍く、好調な方面も目立たない。予約率も例年の90%である。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・やはり東京スカイツリーで続いていた昨年からの販売量が、今年に入り落ちてきているのを実感する。電話やメールの量など、すべてにおいて動きが鈍くなってきている。また、海外旅行についても、まだ中国などの不安材料があり、例年に比べると動きが悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は前半はまあまあだったが、それ以降は天気が悪かったこともあり、思ったほど客数が伸びておらず、非常にがっかりしている。街では政権交代で、というようなこともあったが、客はいない。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・景況改善への期待は波及しているものの、円安、株高に焦点を当てたものである。内需型産業は全く良くなる兆しが見えておらず、実感は全くない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・デジタル多チャンネルサービスの新規契約数は、計画を大きく下回る状況が続いている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・寒さのために来店数が減っている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・今のこのような状況のなかで、新しくビルを建てたり設備投資をする客は非常に少なくなっている。経営状況も悪いなか、融資もなかなかままならないのが現実である。仕事が少ないうえに業者は年々増えている。そういった観点から見ても、景気は非常に厳しくなっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約70%となり、年末年始の休み期間を考慮しても景気はやや悪い。3か月前と比べてもやや悪くなっている。消費税増税のニュースにより客の来場数、販売数共に一時は増えたが、今は落ち着いてしまっている。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・建材関係向けの販売量は例年よりも早く落ち着いており、全体的な販売量も落ち込んできている。
	悪くなっている	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	単価の動き	・天候や気温の関係か、昨年以上に売上が悪い。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔食料雑貨〕(経営者)	来客数の動き	・2011年にオープンした競合店の影響がますます大きくなってきている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・店の前の道路工事が3か月間続くことも、悪くなっている要因である。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・この冬は特に寒いため、来客数は落ちている。これから暖かくなればいくらか増えてくると思うが、ただ何となく政府の掛け声とかけ離れた実態だと思っている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数、単価共に低下している。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・冬物バーゲンの最盛期にもかかわらず、来客数の減少は秋から続いている。また余分な買物は極力控えている様子うかがえる。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	販売量の動き	・とにかく商品が動かない。デフレなどではなく、消費者が食品にお金を出そうとしないからだと思う。
		一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・今年は前年と比べてケータリングの数が少なく、売上が前年比約20%下回っている。今年は販売量が極端に悪くなっている。
		一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・景気は気からと言って1年くらいしたらきっと良くなると客には言っているが、実際は全く悪く、昨年より更に落ちてきている。時間が経てば良くなるかもしれないが、それにしても人も通っておらず、もう自信がなくなってしまうほどである。3店舗あるなかで、当店は場所が少し悪いためかと思うが、他の2店舗もそう大して良くはない。景気が良くなると言っているが、先に増税などいろいろな負担が掛かる。基本的にまだ回っていないのだと思う。
		住宅販売会社(経営者)	単価の動き	・当社は住宅を扱う不動産デベロッパー業と総合建設業だが、不動産価格が下がり続けており、デフレ経済から脱却できない限り、景気は良くなれないと思う。工事の請負の面では、東日本大震災の影響で原価が上昇しているにもかかわらず、公共事業を含めた請負価格は低いままの状態が続いている。このような状態では景気はますます悪くなる。
企業動向関連 (南関東)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・1月は、得意先の病院から1回の注文で10万円以上の注文があった。これは季節性は関係なく、財団法人が一般財団法人に変わることによる印鑑の高額注文によるものである。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・得意先の在庫整理も終了して、1月から受注が元に戻り始めている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・工事の見積依頼が増えている。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・毎日の報道においても与党から景気回復のための施策が打ち出されると報道され、期待感から企業が設備投資をし始めている。
		輸送業(総務担当)	取引先の様子	・生産、出荷は計画に近い数値で推移し始めたが、例年の数値には及ばない。
		金融業(支店長)	取引先の様子	・個人投資家は円安、株高の進行で明らかに積極的になっている。
		金融業(役員)	取引先の様子	・実際に動き出すのはまだ先のことになるだろうが、輸出関連企業を中心に設備投資の話が出てきている。また、消費税増税前の駆け込み需要と景気回復見込みとが重なって、住宅購入に関する相談も増えている。
		税理士	取引先の様子	・新年を迎え、円安、株高が現実となり、商工会議所の賀詞交歓会の参加は過去最多となった。今後の景気に期待している様子が顕著になっている。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・景気に期待する傾向は多いが、まだ現場には降りてきていない。
		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月の前半は良かったが、雪が降った成人の日から前年割れの状況で、また戻ってしまったようである。小売店は、まだ景気が良くなったという実感はない。
		繊維工業(従業員)	受注量や販売量の動き	・今冬は急に寒さが厳しくなり、セーター等冬物衣料が売れている。しかし、手ごろな価格品に需要が集まり、高価な物は今までと変わらず売れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・特に変化はみられないがやや好転の兆候が見られるため、現在は様子見の状況である。新規の設備投資の踏切時期を見極めている。
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・今年は年度末関連の仕事の動きが鈍く、受注量あまり良くない。
		出版・印刷・同 関連産業（所 長）	受注量や販売量 の動き	・1月は例年数字が少ない月となっており、一概に判断しにくい部分はあるが、前年より更に数字は悪化している。年度末の繁忙で巻き返しを図りたい。
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・年明けから見積依頼の件数が多い。見積合わせのため即受注というわけではないが、新規の印刷物の見積合わせが多く、価格も極端に低くないため期待が持てる。
		プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・総体的にどの顧客も円安、株高の影響が販売促進をしており、受注量も増加傾向で、新企画への意欲も活発化しているようである。
		プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・政権交代したが、まだ具体的な動きは出てきていないため、景気は変わらない。
		金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・12月は選挙で落ち着かず、発注が止まっていたため、1月は仕事が少なかった。得意先は2社購買に力を入れ始め、価格競争が一段と厳しくなっている。
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・身の回りの景気が良くなったとは全く思わない。しかし、新政権になり、あれだけの政策を打ち上げたことで、何となく今までより周りが明るい顔をしている気がする。やはり景気は気分である。何もしない政治家が総理をやっているようでは、いくら皆が努力しても良くならない。
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新内閣の力強いリーダーシップで、国民の期待感が高まっており、気分的に明るくなっている。しかし、経済的には今のところ厳しく、何も変わってはいない。
		その他製造業 〔靴〕（経営 者）	取引先の様子	・現在、仕事を取ることに大変苦労しているのが得意先の様子である。特別悪くもなく良くもならないという状況のなかで、四苦八苦しなからやってくる様子がうかがえる。大分景気が良くなっているというが、当方にその影響が出るのはまだまだ先だと思ふ。
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・競争案件での価格は叩き合いの状況である。職人も少なく、集めるのにも一苦労である。
		建設業（経理担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・相変わらず受注競争が激しく、利益の取れる仕事が受注できない。また、職人不足やじわじわと上昇する材料費など原価率が高く、採算がなかなか取れない工事ばかりである。
		輸送業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・アベノミクスにより、円安が進んでいる。株価も上がっている。この調子でいけば、実態が明るくなってくると思うが、現状ではまだ確たるものがない。
		金融業（統括）	取引先の様子	・円安、株高で輸出産業が伸びそうだが、まだ具体的な受注には発展していない。
		金融業（渉外・ 預金担当）	取引先の様子	・受注量、単価共に変化はない。今後も短期的に大きな変化はないとの意見が多い。
		金融業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・当社の取引先である中小企業の売上状況だが、製造業は、まだまだ落ち込んでいるのが現状である。好調などころでは、建売業が消費税増税による駆け込み需要があるようで、販売が好調ということである。ただ、そのほかの業種のほとんどは売上が落ちている。
		不動産業（経営 者）	競争相手の様子	・マンション19戸のうち11戸が契約になったが時間が掛かっている。6月完成であるから7か月目である。賃貸の市況は好転の兆しがみえない。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・3か月前と比べると、新規テナントの引き合いは増えてきたが、なかなか成約には至らない。競合先のビルとの賃貸条件を引き合いに、値引き等駆け引きをしてくるため交渉が難航する傾向にある。結果、賃料の低下につながっている。
		広告代理店（経 営者）	取引先の様子	・主要クライアントが昨年秋に発売した期待の新商品が、全くの期待はずれに終わった。その結果、来期の予算が昨秋時点の予測よりも更に下方修正され、その影響が現時点にも及んできている。
		広告代理店（従 業員）	取引先の様子	・年度末に向けて、あまり悪い話が耳に入らない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント	取引先の様子	・販売動向は事業所間の差を感じる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・個人事業主の税申告の時期である。事業主たちの話は暗いものが多い。業績は一向に好転せず年を終えた、という人が圧倒的である。話に出てくるパーセンテージは赤字幅のことであり、マイナスが常態化している。
		税理士	それ以外	・最寄り駅に行くまでに商店街があり、そのなかに飲食店が結構あるが、夜、ガラス越しに見てみると、全く客が入っておらず、結構経営が大変なのではないか。やはり街の状況や市況がずっと影響していると思う。
		社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りが厳しく、支払いが滞る会社も見られる。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・新政権になり、様々な積極策が打たれようとしているが、まだ実体経済に反映されるものではなく、今後が期待される。製造業、特に機械加工関係は引き続き冬の状況が続いている。
		その他サービス業 [映像制作] (経営者)	受注量や販売量の動き	・政府の方針が発表され、気分的には景気が上昇しているように感じるが、実際、それが仕事上で反映されている実態は全くなく、新規の動きも今のところはない。
		その他サービス業 [廃棄物処理] (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は変わらずに推移している。
		その他サービス業 [ソフト開発] (経営者)	それ以外	・飲食店はほとんど暇で、安い店しか客がいない。
		その他サービス業 [ビルメンテナンス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・年末に大きな物件の解約があったが、今月は特に大きな動きはない。
		その他サービス業 [情報サービス] (従業員)	受注量や販売量の動き	・インターネット対応のマンションにグレードアップする取組を実施しているが、ここしばらく、新規での受注件数が伸びていない。前年同時期と比較しても低調な状態が続いている。
やや悪くなっている		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・このところ、外国へどんどん仕事が行っている気がしており、良くない。
		輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・年始は比較的取扱量もあり、良好にスタートしたため期待をしたが、月中から月末にかけて失速してしまい、結果的には思わしくない月となった。
		輸送業 (経営者)	取引先の様子	・荷主の話では今年が良いということだったが、ふたを開けてみると決して良いことはなく、前年と比べて今月は落ち込んでいるのが現状である。2月になれば少しは良くなるという話だったので、それに期待している。
		通信業 (広報担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると減速しているが、今月は改善の兆しが見える。
		その他サービス業 [警備] (経営者)	受注量や販売量の動き	・毎月の売上額が500万円ほどの客先から今月末で撤退するためである。
悪くなっている		出版・印刷・同関連産業 (総務担当)	それ以外	・消費税率引上げの影響が、良い方向に作用するとは思えない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・政権が交代して円高、株安の経済状況が改善されているが、現実の景気は一段と厳しい環境であることに変わりはない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・政権交代して今月は円安となると同時に株価が大幅に上がってきている。ムード的には明るい兆しが見えてきたが、販売金額がこのところの示す数字は、実体経済は本当は良くないと言っている。
		精密機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量から判断しているが、いまだに前月よりも受注量が減っているのが現実である。
		建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・商品が売れない。
		輸送業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・メインの荷主の経費削減策により他社に仕事を奪われ、創業期を除くと初の赤字決算に追い込まれてしまった。
雇用関連	良くなっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(南関東)	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・通常、1、2月ごろは閑散期であるが、今年は企業からの求人数が、例年に比べ若干増加している。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	周辺企業の様子	・求人広告の出稿には至らないものの、問い合わせ件数が増え始めている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・建設関係の求人が増えていたり、パートだが大量の求人が出ていたり、少なくとも数か月前ではなかなかそういった求人は少なかったと思う。
		民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・当社のクライアントは自動車関連の製造メーカーが多く、最近の円高傾向が明るい材料になっている。ただ、すでに円高対策で海外からの輸入部品や海外への生産拠点の移転も進んでおり、輸出の量的な面での効果より、連結ベースでの売上、収益の増加が期待できる。人の採用面では、海外で活躍できる経理や購買などの人材や技術者のニーズが高いが、要望にかなう人材は少ない。
変わらない		人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・どの業種も求人の増える動きは当面ない。
		人材派遣会社(営業担当)	雇用形態の様子	・年度末に向け退職の後任補充などにより、求人数にやや動きが見られる。しかし、雇用形態は有期職が多く、雇用数が増えても個人消費は劇的には増えない印象である。
		人材派遣会社(営業担当)	周辺企業の様子	・一部の企業では業務繁忙に伴い人材派遣の活用を再開する企業も出てきているが、電気、電子部品、半導体等、業種によっては、業績不振により更なる経費削減策を取り、人件費削減の動きもある。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求職者数の動き	・現在、各企業とも定期学卒採用の説明会や面接の真最中であり、新規に予算を使って新しく仕掛けるという動きではない。採用を増やすという企業は昨年より増えているが、予算内の工夫で対応している。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	求人数の動き	・新規の取引社数が増えていない。
		求人情報誌製作会社(広報担当)	雇用形態の様子	・正規雇用の社員を補充せず、期限のある契約社員、嘱託社員で最低限の人数を維持している感じである。1案件当たりの利益率が下がっているため、仕事の量は増え、慢性的に疲労がたまっている人が多い。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数は8か月連続で前年同月を上回っており、今月においても前年同月比で10%増加の見込みである。内訳はパートや非正規雇用の求人であり、正社員求人の割合は増加していない。3か月前の求人数と比較すると、数は横ばいである。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求人数、有効求人数共に堅調に推移しているが、最近まで減少を続けていた求職者数が増加基調に転じる兆候がある。
		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・年末に掛けて求人数が前年比で減少傾向にあったが、今月に入って大きい変化はない。
		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・求人数の動きは、まだ大きな変化はない。
		学校[短期大学](就職担当)	求人数の動き	・一般企業からは2013年3月に卒業する学生に対しての求人票はほとんど届かなくなった。しかし、保育業界からは求人票がまだ届いている。業界によっては、まだまだ人材を欲しがっているところがある。
		学校[専修学校](就職担当)	求人数の動き	・求人獲得数は前年比ベースで微増であり、ここ数か月大きな伸びはない。
		やや悪くなっている		人材派遣会社(支店長)
新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き			・年明け、注文殺到が期待されたが、今までの大口ユーザーのなかで4社がかなり減少しており、そのなかで事業縮小が2社である。新規を25件獲得できたものの、全体的にみるとやはり減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	—	—	—

## 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・初詣の人出が、前年比15%増と増加に転じている。好天に恵まれたのと明るい話題に支えられて、大勢の人で今日もにぎわっている。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・10～12月の第3四半期はエコカー補助金が切れて販売量は落ち込んだが、年明けの初売りから新車販売は好調に転じている。中古車も、価格の高止まりで収益に貢献している。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・みんな明るい顔をして、どんどん買物している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新商品の投入効果もあってか、地元観光地の取引先を中心に、好調な数字で推移している。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・まだ期待したほどには良くなっていないが、何となく良くなっている。客の様子を見ると、全くの閉塞感から少しずつ動いている。これから、まだまだ期待できる。
		百貨店（経理担当）	単価の動き	・購買単価、購買点数共に改善が見られ、消費者からは節約志向から支出拡大への変化が感じられる。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・新政権が発足し、アベノミクスと株価上昇の報道等により、景気マインドは上向きになっている。初売り後の再値下げ時期にも、来客数、売上は共に堅調であり、前年を上回る見込みである。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・セール品もセール品以外も、売行きは好調である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・宝飾時計などの高額品の需要も引き続き堅調であり、今月は特にその傾向が強く表れている。衣料品なども、若干ではあるが、回復感が見受けられる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数の増加は期待できないが、1人当たりの買上点数の増加は、少しではあるが認めることができる。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年同月比で、客単価は2.5%ほど上がっている。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・年末年始の休日数が多かったこともあるが、前年同月を上回る商品群が増えてきている。しかし、1品単価は低下しており、利益も減っているため、単純に回復しているとは言えない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売は好調に推移している。前年同月と比べても、上回っている。新車投入効果もあり、購買意欲は高い。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・今月から新規客も含めた来客数が増えており、車の受注も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政権交代してから、車の売行きは良くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税を見込んだリフォーム、新築需要が始まっている。持ち家住宅、分譲マンション共に、販売戸数は多くなっている。また、民間設備投資も増加傾向である。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・新政権への期待からか、雰囲気は良くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年明け早々の受注は例年少ないが、中旬から後半にかけては、4月以降の旅行の受注が始まっている。例年以上の受注または見積があり、景気は多少良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・来店客の申込内容を見ていると、1ランク上のホテルにしたり、充実した内容のツアーにしたりする傾向が見受けられる。デフレで激安の旅行商品があふれているが、そのツアーよりも1ランク上のツアーを申し込んでもらえる。財布のひもは、多少緩くなってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・前年と比べると、新年会等の集まりは少し増えている。月後半の売上は少し伸び悩んでいるが、前半は前年と比べると良い。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数はそれほど減っていないが、新規契約数は回復しつつある。客の反応も良くなってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		通信会社（営業担当）	それ以外	・政権交代後に、円安や公共事業等の話題が新聞紙上等をにぎわしている。円安等は必ずしも景気回復とは結び付かないと考えるが、産業界には良い刺激になっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の会話を聞いていると、正月休みや連休でレジャーに出掛けた人が多くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・正月明けの消費は、それほど活発ではない。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・地元の中小規模小売店は、相変わらず苦戦している。全国チェーンの大手企業に客が奪われている状態は続いている。同業他社からも良い話題は全く聞かれず、リストラや閉店、廃業を検討しているといった話題が多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・ここ3か月間、客単価は下がっているが、販売量は増えているので、売上は横ばいである。小物は売れているが、包装資材や手間が増えるため、利益幅はかえって縮小傾向である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は伸びているが、1人当たりの客単価がますます低くなってきているため、販売量や販売高につながらない。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・政権交代したが、食品の動きには何も影響していない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・取引先の飲食店への来客数が、安定的には増えていない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・売上は前年と変わらないが、寒い日が多く、来客数はやはり落ち込んでいる。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・売上は、前年と変わらないか下回る状況が続いている。客単価も低く推移していて、政権交代後も消費に結び付いている感じはない。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	お客様の様子	・客の様子には明るい部分も感じられるが、デフレ状態が続く中、慎重な買い方が目立っている。当店の売上は、前年同月をようやく達成という状況であり、横ばい状態が続いている。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・12月のクリスマスセール、1月のバーゲンセール共に横ばいである。そのセールも終わり、来客数は少ない。ドラッグ業界では、調剤部門は順調であるが、市販薬部門はインフルエンザが増えているにもかかわらず低調であり、全体としてはやはり横ばいである。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランス初日は来客数が多く、購買意欲も感じられた。それ以降は、決まった商品しか買わない傾向に戻っている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・1月2日からクリアランスが始まり、前半は買わなければ損という感じで、つられて買っている客が多かった。しかし、月後半からは落ち着いてきて、クリアランスにも飽きて、ただ見ているだけの客が多い。バーゲンで気に入った商品がなければ定価で買う客もいる一方で、安くて良い商品がなければ買うのをやめる客もいる。買う人は高い物でも買うが、買わない人は我慢している。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・年始の福袋販売については、前年と同様に好調であった。ただし、クリアランスがスタート後の衣料品の売上は、伸び悩んでいる。景気が上向いていても、消費にはまだ結び付いていない。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・政権交代により、円高や株価上昇が企業へのプラスの要素として出つつあるため、マインドは以前よりも明るい兆しがある。しかし、実態への影響はほとんどなく、購買動向にも大きな変化はない。効果が実際に出てくるのは、数か月先ではないかと思われる。
	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・来客数は直近の傾向値よりも増えているものの、売上客数は伸びていない。客単価もやや下がっている。売上の傾向値は若干改善の兆しが見えるものの、良くなっているとまでは言えない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・今年は初売りとセールを同時にスタートする店舗が多く、正月時期はどこも集客があり、活気付いた。しかし、休み明けには例年より早く閑散期が訪れ、結果としては変わらないかやや前年を下回りそうである。他店も同様の様子である。景気が上向きという声もあるが、今の時点ではまだ実感できない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・好立地で55年間営業してきたガソリンスタンドが、この3月で閉店する。中小企業はギリギリのところまで営業してきたが、持ちこたえられず、閉店に追い込まれている。景気はまだ良くなっておらず、利益も出ていない状態である。現時点では景気は良くなっていない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、前年同月比97%前後の推移で変わらない。特に買上点数が伸び悩んでいる。
		スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の下落はまだ続いている。以前は買上点数の増加によって客単価を維持していたが、買上点数の増加がなくなり、客単価の下落だけになっている。
		スーパー（店員）	単価の動き	・1品単価が低い状態が続いている。安い商品だけが売れていく動きをしている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・単価が上がらない。景気回復には程遠い状況である。消費税増税の決定と円安傾向に伴う輸入品の値上がり、消費を停滞させる要因になっている。
		スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・売上は前年同月比98.8%で推移しており、数字はやや良くなっているが、前々年の金額には届いていない。
		スーパー（支店長）	お客様の様子	・1月の消費の冷え込みは特に厳しく、景気の先行きが心配という雰囲気を感じる。特に製造業は厳しいとの声を聞く。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・若者の雇用者数や求人倍率が増えるという雰囲気がない。製造業の残業の発生や派遣の増加の話も聞かない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗売上は、前月と同様に前年同月を下回っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上の前年同月比が右下がりの傾向にある中、他のエリアと比較してその要因を確認すると、来客数の減少が大きく影響している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・消費者は、無駄なものにはお金を使わない。夜遅くまで出歩かない傾向は、まだ続いている。当店の来客数も夜間を中心に伸びておらず、減り気味である。
		衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・ファッション品は、ほとんど動いていない。ただし、介護衣料は売れている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・初売りは前年よりも好調であったが、その後に伸びが続かない。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・政権交代によって、景気が良くなったという雰囲気は確かにあるが、実際にはお金は回っていない。株価が上がったりして、気分的に明るくなる兆しがあるといったところである。住宅などで、消費税増税を先取りした受注があるという話は少し聞いている。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客との会話のなかで、将来的に出費が増えるため、今お金を使って良いのか不安で仕方がないといった話をよく聞く。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・株価の上昇など、景気好転の要素はあるものの、社会全体にはまだまだ好影響は出ていない。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・1月の動きとしては、今一つである。例年1月はそれほど良い月ではないものの、もう少し動いてもよい。来客数の動きも多いとは言えず、販売数の動きもそれに比例して良くない。悲観するほどではないが、3か月前と比べても変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売環境は、ますます厳しさを増している。客が検討している車以外は、話に関心を持ってもらえない。欲しいと思っている車でないと、買う気はない様子である。自分の欲しい物だけ買って、それ以外は見向きもしないといった、余裕のなさが感じられる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・客は、同じ商品でも単価の動きをよく見ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔雑貨〕(店 員)	お客様の様子	・来客数が減少している。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・週末の悪天候が原因で、今月は厳しい。
		一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・客は正月にお金を使い、1月半ばの3連休でまたお 金を使っている。その影響で、大変厳しい状況にあ る。
		観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・3か月前は主に中国、韓国との領土問題の影響が あったが、今月は正月三が日の一般個人客の利用も、 前年と比べて2割ほど減っている。一般宴会も、前年 は東日本大震災の影響で単発的な予約が多かったた め、今月は予算目標も達成していない。
		都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・脱デフレの経済政策がうまく軌道に乗るかどうかにか かっている。
		都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・最近、ずっと横ばいである。
		旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・現在の経営環境は、3か月前とあまり変わらない。
		旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・客層は、経営者や公務員の富裕層とサラリーマンや 年金暮らしの一般層の2つに分けられる。富裕層から は、暖かくなってくると旅行計画が多数出てくる。価 格重視の層は、春以降はあまり期待できない。出張 も、経費がかなり抑えられている。
		旅行代理店(経 営者)	単価の動き	・単価は、引き続き下がりつつある。格安航空会社の 中部での就航を前に、価格低下はまだ進むと思われ る。
		旅行代理店(従 業員)	来客数の動き	・正月で来客数はどうしても少なくなるが、そのなか でも高額商品が売れていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・12月は、夜の繁華街の人出はそれなりにあった。年 明け以降は、金曜日や土曜日の人出は多少あるが、他 の日は4か月前と変わらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・何か月も前から、人出の少なさは変わらない。例 年、成人式から2月末ごろまでは暇な時期であるが、 3月にどうなるかはわからない。財布のひもは固いた め、お金が使いやすくなるような政策に期待してい る。
		通信会社(サー ビス担当)	販売量の動き	・高仕様の光回線の値下げや、新しい割引サービスの 開始に伴い、光回線の申込件数が増えている。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数は若干上向いているものの、好景気を感じら れるほどではない。
		観光名所(案内 係)	お客様の様子	・政権が変わり、皆期待している。これからどうなる のか、見極めようとしている。期待感に溢れている。
		ゴルフ場(企画 担当)	来客数の動き	・来場者数、売上共に、好調に推移している。しか し、月末に雪の影響が多少出てくると思われるため、 数字的には変わらない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税増税を前に値上げしようとする動きは今のと ころ少ないが、客からは消費税増税の便乗値上げが 出てきているのかといった問い合わせが増えている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・横ばい状態にある。
		その他住宅〔不 動産賃貸及び売 買〕(経営者)	来客数の動き	・年始の来客数は期待したほど伸びておらず、例年と 変わらない。来客は週末に集中するので、伸びている と勘違いしてしまう。
	やや悪く なっている	一般小売店〔贈 答品〕(経営 者)	お客様の様子	・当面、サラリーマンの給料は増えない。事業所税や 消費税の増税などが控えており、可処分所得が増える ことはない。その防衛策として、贈答品店では出費が 控えられるようになってきている。告別式に出席する場 合でも、付き合いの範囲を狭くしたり、香典の金額を少 なくしたりしている。結婚式も、派手さよりも実利重 視で、安く仕上げている。贈り物やお返しも少量にす るなど、ある意味で賢い選択になっている。贈答品店 としては、派手さが無いことに困っている。
		スーパー(経営 者)	お客様の様子	・小規模の八百屋や飲食店では、年明けは総じて売れ ていない。悪い状況が続いている。
		スーパー(経営 者)	お客様の様子	・売上等が全く改善していない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・近隣の競争店が、今までしてこなかったカテゴリーで、値下げをし始めた。自店では買上点数が減ってきたので、競争店の値下げ商品に価格を合わせ、更に特売を強化している。客も徐々に価格に敏感になっており、利益を圧迫することになりそうである。
		スーパー（店員）	単価の動き	・レタスやほうれん草などの葉物野菜が、日照時間の不足により不出来であるため、価格が高騰している。そのため、少量の買物で済ます動きが見られる。
		スーパー（店員）	単価の動き	・1人当たりの買物点数や金額が、前月と比べて落ちている。チラシ商品等でも、特売品のみを買って行く人が多い状況にある。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・年末年始明けで、今は例年並みに売上は少ないが、来客数がめっきり減っているのがわかるため、例年よりも悪い。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・月初の売上はまずまずであったが、中旬以降は来客数が減ってきている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・高級外国車のクリーンディーゼル車が好調であるが、在庫がほとんどないため、販売登録ができていない状態である。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・日曜、祝日の来客数は、大幅な前年割れとなっている。客単価も低下している。個人客、家族客の動きが鈍化していることのと表れと見ている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末で出費が増えたためか、1月は来客数が激減している。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、宴会共に、前年同月比はマイナスである。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・インターネット関連の申込件数が、減少している。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年1月は暇な月であるが、客はあまり来てくれない。良い話も聞かれない。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・1～3月は例年、これといったキャンペーンがないため、販売量は減少している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・政権交代しても、末端には影響がない。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・景気が良くなっているという具体的な話は、全く聞かれない。
	悪くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今年の冬は特に寒いからかもしれないが、とにかく来客数が少なく、1人当たりの買上単価も低い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・近くに大手コンビニが出店したことにより、売上、来客数共に大きく減少している。影響が少ないと考えていた当店併設の自動販売機の売上も、減少し始めている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲン中にもかかわらず、品定めに来店する客が少ない。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・政権交代への期待は高いが、売上や来客数はまだそれほど変わらない。新政権に景気回復を期待する。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客数が前年同月比で15%ほど減少する傾向が、12月からみられる。前年と比べると、宿泊客数はかなり減っている。福利厚生費や社員の交流費が削られている。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価が落ちてきている。
		美容室（経営者）	それ以外	・前年の暮れからずっと寒くて、来客数は極端に少ない。当店はパーマと毛染めの客が多いが、客の高齢化もあって、出足は悪い。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話は聞かれない。お金を使わない。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・今年になって、他業者の売行きも非常に悪い。また、客の動きも非常に悪い。
		企業動向関連（東海）	良く なっている	—
やや良く なっている	食料品製造業（経営企画担当）		受注量や販売量の動き	・新製品の発売後、相当期間を経過しても、販売数量は安定している。客から価値を認められた結果と思う。多少高単価であっても、良い製品であれば販売できる状況になりつつある。
	窯業・土石製品製造業（社員）		受注量や販売量の動き	・全体的に受注量は上向いてきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末と比べて、受注量、販売量共に微増している。ただし、鋼材単価の値上がり前に、少し早く買おうという動きの表れである。物の動きにつながってくればよいが、中小零細企業では先行きは相変わらず見えていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、受注見込み共に、増加傾向にある。
		一般機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・円高のため価格が折り合わず、あきらめていた北米の自動車産業で、プロジェクトが復活する動きがある。相変わらず活発な動きがあるアジアでも、今までは価格競争で勝ち目がなかったが、受注できそうな案件が出てきている。
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・設備投資計画が具体的になり、実施に向けた動きが出てきている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安で好影響がある。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先で新機種が立ち上がっている関係で、生産は増えてきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建共に、来場者数、契約件数が増加しつつある。消費税増税前の駆け込みの影響もあるかもしれないが、消費者マインドは上昇傾向にある。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・円高、株価の上昇などによって、企業マインドは改善している。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、生産が総じて増加している。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・円安や株高により、従来塩漬けになっていた株や投資信託の値段が上がり、個人の投資マインドが戻ってきている。
		不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・年明けより、マンション販売センター等への来場者数が増加している。
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・アベノミクスの効果がある。株価の上昇が大きい。
		経営コンサルタント	競争相手の様子	・大都市中心部の賃貸マンションを中心に、取引は活発になってきている。
		公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業の業績及び資金繰りが厳しい。金融円滑化法の期限に対する出口戦略が決まっていない会社が多い。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設関係では、住宅建築や大規模修繕工事の受注が続いている。また、道路等の公共設備工事も進んでいる。
	変わらない	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・予算目標を上回るような受注にはなっておらず、一般的な円安、株高の影響も出ていない。今後3か月の売上予測も同ようである。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・医療機関では、冬に患者が増えるのが普通であるが、今年はあまり変化がみられない。少しでも出費を抑えようという意識の表れかもしれない。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・現状では、例年と同様に忙しい企業が多い。引き合いが増えているなど明るい材料もある一方で、原材料の値上げが心配である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて、受注量に大きな違いはない。景気回復の実感はまだない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の主力製品の生産は、この3か月間ほどは安定している。状況としてはあまり変わっていない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年秋からずっと、景気は悪い。多少円安に向かっているが、受注が増えているとは感じられない。
		建設業（営業担当）	競争相手の様子	・一般廃棄物関係では下水道の普及が始まっているが、まだまだ浄化槽が多いため、以前と変わらない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・日用雑貨関連の荷量は、相変わらず前年同月比95%前後で推移している。商品単価も、回復している様子はない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・最近はや安、株高であるが、輸入、輸出共に貨物の動きにはまだ変化は出ていない。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上の3か月前比は、前年同月が9.9%減、今月は0.3%増となり、10.2%ポイント良くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・当社の取扱荷物量は前年同月と全く同じであり、変わっていない。		
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・下げ止まった感はあるが、物量や単価は上向きにはなっていない。		
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車業界は、例年に比べてあまり良くない。瓦業界は、賃貸住宅や、太陽光発電機器を取り付ける住宅で需要があり、景気の良い企業もある。		
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所の新規紹介の案件はあるが、規模は小さい。事務所の集約が進んでおり、景気が本格的な上昇局面にあるとは思えない。		
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業の動きは停滞気味であり、新しい動きもほとんどない状態が続いている。		
		行政書士	受注量や販売量の動き	・取引先企業の貨物の動きは、例年並みである。		
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・顧問先企業では、新規採用も少しずつあるが、初任給は上がっていない。社内のパソコンを20台ほど入替えた企業もあるが、使えなくなったための交換であり、積極的な設備投資とは言えない。		
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・低迷状態が、そのまま続いている。		
		やや悪くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・産業の特定はできないが、受注量、販売量は全般的に少しずつ減少している。
				その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・大きく円安に振れており、景気の先行きは確かに明るく感じられる。今までちゅうちょしていた案件が次々と決まっている。経営者としてはこのままの状態が続いて欲しい。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・ここ2、3か月間の使用量、生産量は、2割ほど減少している。客先の受注状況も含めて、現状はやや悪くなっている。		
悪くなっている		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの、中国向け輸出梱包資材の注文が停滞したままである。そのため、段ボール生産量は落ち込んでいる。		
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売数量は、減少している。		
雇用関連 (東海)	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・政権交代後、株高、円安の影響から、製造業の景気は良くなっている。		
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員採用の求人が、着実に増えてきている。		
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新政権への期待から円安、株高が進行しており、景気は少し上向いている。		
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・株価が示す通り、製造業を中心とした輸出型産業には明るい兆しが出てきている。裾野の産業にも、時期が遅れて恩恵が見込まれる。		
	アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・円高の緩和や年度末に向けた生産によって、自動車生産は上向き傾向にある。			
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、介護・福祉関係施設の増設や新設に伴い、増加している。また、3月に就職する大学生等のアルバイトが多い学習塾の講師求人や、派遣会社から製造業への短期雇用の新規求人が増えている。ただし、自動車部品等を製造している事業所では、非正規社員を中心に新規求人数は減少している。			
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比は、29か月連続で増加している。			
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・取引先企業の研究開発需要は、予算調整の要素もあり、以前ほどの勢いがなくなっている。そのため、技術者派遣の需要も勢いがなくなっている。		
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・例年に比べても、新年会、同窓会の利用が好調であり、特に同窓会は2割ほど増加している。そのため、派遣注文も引き続き好調である。		
		人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・季節要因を除いた稼働者数は、前年同月比数%のマイナスで推移しており、傾向に大きな変化は見られない。		
新聞社〔求人広告〕（営業担当）		求人数の動き	・新政権の政策はともかく、实体经济はまだ変わっていない。			
職業安定所（職員）		雇用形態の様子	・正社員の求人が少なく、パート社員の求人が非常に多い状況にある。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体の新規求人数は増加しているが、基幹産業の製造業では減少している。そのため、全体としては変わらない状況が続いている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は減少傾向にあったが、年明け以降は増加に転じている。契約満了、更新なし、事業縮小、事業廃止による解雇等の離職者や、契約満了を控えた在職中の休職者が目立ってきている。これは例年の傾向ではあるが、前年を上回る状況にある。特に45歳以上の中高年齢者の比率が高くなってきている。
		職業安定所（次長）	求職者数の動き	・まとまった規模の雇用調整は、このところ新規には発生しておらず、公表済みのものに止まっている。また、新規求職者数も下げ止まりの傾向にあり、前年同月比は増減を繰り返している。有効求職者数の前年同月比は3か月連続で上昇しており、就職できない求職者の滞留がうかがえる。一方、求人数の前年同月比の増加率は1けた台に低下しているが、増加基調は維持している。雇用からみた景気の方向性は、不透明である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・海外展開している企業からは、景況感が不透明であるため人材を探す動きは弱まっているという話と、逆に海外に人材を出すため国内の人材を補強したいという話があり、二極化している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・金融業界では、消費税増税対策として、派遣活用の縮小傾向が顕著である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・食料品、金属製品、汎用機械、輸送用機械の製造業、卸売・小売業、運輸・郵便業では、求人数の減少が継続している。サービス業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業では、増加の動きが見られる。ただしその要因は、年末年始の季節的要因であったり、直接雇用を派遣に置き換えたりであり、底堅い増加ではない。全体としては、製造業、卸売・小売業、運輸・郵便業等の求人数の動きが悪く、まだ悪化傾向にある。
	悪くなっている	—	—	—

## 6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・今年は初売りの曜日配列が良く、正月に来客数の多い日が長く続いたため、前年同月比で来客数が多かった。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・来客数は増加しており3か月前よりは良いが、景気が良いとまではまだまだいえない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・経済に対する期待感が若干市場に表れているようである。春商材への購買も徐々に進んでいる。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合となるスーパーが、ここ最近撤退などのニュースになり、そこからくる上向きというところが1つ考えられる。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・年末商戦の盛り上がりは前年よりもあった。普段の閉塞感が爆発した感があった。しかし、年明けからは前年同様に冷え込んだ。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・例年1月からは自動車販売が活発化する時期であるが、雪が少ないせいか例年より来客数が多いようだ。3か月前はイベントを行っても来客数が少なかったため、景気はやや良くなっていると思う。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・新政権発足以降、政治にスピードが出てきたようで、経済界も全体的に好意的な見方をしているようである。消費の面にも波及効果が出てくれれば申し分ない。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・当社の車の販売量は、前月比124%、前年同月比80%とやや回復基調にある。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・円高、株安の不安がやや解消され、宿泊、レストラン、宴会部門ともに前年同月比で増加している。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・政権交代や客の発言からやや良くなっていると感じられる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
変わらない		タクシー運転手	来客数の動き	・連日寒い日が続き、雪の日が多かったこともあり、足元が悪く、新年会などによるタクシー利用が多かった。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・株価の上昇は家計世帯の余裕度を増していると考えられ、わずかではあるが娯楽サービスとしてのケーブルテレビ契約の増加に寄与している。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・3か月前と比べ1日当たりの売上平均が20%増加している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・1年前には来客数の前年割れが当たり前だったが、半年ほど前から前年同月の来客数を毎月維持するようになった。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・展示場来場者は確実に増えてきている。それに伴って商談件数も増えてきた。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・円安や株価の上昇を受けて、景気が良くなるという客の声が増えてきた。価格についての見方は今までどおり厳しいが、前向きな言葉を多く聞くようになった。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・2世帯住宅や親からの資金援助による建築など、様子見だった客が消費税率引上げの影響で取得に向けて動いてきた。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・寒さの影響もあり、セール後の購買は大変消極的であったが、セール期間中は前年同様の入出や売上もあった。
		一般小売店〔事務用品〕（役員）	販売量の動き	・今月は稼働日が少ないため、もともと目標金額は全社的に低めにしていたが、それでも売上達成に程遠い数字が出たため、いろいろな意味で、お金や物が動いていない時期であったと思う。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・1月は初売りから始まり、福袋あるいは冬物の買得品といった物が、例年の動きの1つの判断基準になるが、一言で言うと、まとめ買い、あるいは、物を何個か買うという購買行動がかなり減り、必要な物しか買わない状況である。福袋についても、単価の高い物が多少動きが悪くなっており、どちらかという、まだ財布のひもは固い状況であるというのが実感である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスに入り、品切れ、サイズ切れが多く、販売につなげることが厳しかった。例年行われていた2日間の特別招待会を5日間に延ばしたが、成果はみられず、予算達成は厳しい状況となったが、予想の範囲内であった。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・例年よりも少し早い寒波が訪れたことにより、アウトターのショップであれば重衣料、インナーのコーナーであれば、パジャマの地厚の物の売行きが最初は良かったが、ここに来て、前年同月の8掛けという状態になっている。客もセール価格になっていてもさらに安い物を求めているので、そのような面では、財布のひもは多少固い感じが見受けられる。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・冬のセールがスタートしたため、衣料品を中心にバーゲンが好調である。来客数は累計で前年同月比で102%と伸びているが、価格は下がっており、客単価が落ちている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今年に入り来客数の伸びが悪くなっている。客単価、来客数、1品単価ともに前年を超えているが、競合店のチラシ、また、ポイントセールなどの影響もあり、伸び悩んでいるのが実情である。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が減少しているものの、客単価は下がっていない。競合店の来客数が伸びているわけではないので、客は節約しているように見受けられる。		
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2号店においては、ここ数か月、数字は全く変わっておらず、競合店が同一エリア内に4店舗との状況を考え、10年契約の更新をせず、クローズすることにした。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の多くなる土日の天候が降雪などで悪かったため、来客数が減少したが、消費者の消費マインドに変化はない。		
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・円安や株高などの景気期待感はあるものの、増税やガソリンの値上がりなどもあり、消費マインドは厳しい。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・スーツについては、11～3月まで着ると決めていた物を、前後1か月ぐらい、10～4月まで長く着用する傾向があると想定される。これは、冬物も夏物も同じような傾向があるように思われる。また、少し高くても、長い年月を持たせようとしているように感じられる。
		衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・今までと変わらず、必要な物のみ購入している印象がある。安価でも必要の無い物はなかなか購入しない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で90%まで落ちている。
		家電量販店（管理本部）	販売量の動き	・株式市場は好調のようにみえるが、販売量には変化がみられない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・需要を掘り起こす優遇措置やエコカー減税など国の施策に便乗しての増販策が息切れした感がある。車本来の機能や魅力とは関係しない方向で商談が進んでいる。
		自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・例年、降雪に伴う買換え需要があるが、無理しても使い続けようとする客が多く、依然、必要以外の商品購入は控えている状況である。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・節約が当たり前になり、本人も節約しているという意識が無い。特に若い人がその傾向が強く、あまり物欲が無い。無くて良いという感じが見受けられる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・年始の初売り及び冬物衣料バーゲンの販売量の実績が、例年をやや下回った。12月中旬より前倒しで実施した、ポイント還元セールや事前値引セールなどを多発させたことが原因としてみられる。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・年始の休みも長く前半は好調に推移した一方で、後半は雪の影響もありやや低調になったが、全体ではほぼ前年並みである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・当店は客の年齢層が高くなっているため、悪天候などは、直接影響があり、前年同月比2割減といった感じである。政権による変化もあるが、実態は決して良くない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・平日を中心に、11月以降引き続き集客に苦戦している。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・売上は前年同月比で93%、宿泊人員は同98%、宿泊単価は同99%となっている。売上減の主な原因は今年度のイベント実施を見合わせた点と、特に個人客を中心として、宿泊人員が伸び悩んでいる点である。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・中国方面を除いた海外旅行は順調に伸びている。しかし、近場の国内旅行、新年会などの動きがなく、海外旅行の単価の大きさを総売上をカバーしている状況である。
		通信会社（職員）	お客様の様子	・固定インターネットサービスは競争激化により苦戦を強いられるものの、タブレット端末との連携サービスは順調といえる。現状は相互にその成果を打ち消し合う結果となっており、全体として先行き不透明であることに変わりはない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新機種の発売に伴って少し動きを見せたが、3か月前と比較すると低価格指向が定着してきている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・全体的な来客数については特に1月中旬から大幅に減っているものの、販売自体は大きく下がっていない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新製品に対する客の反応が良くない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・例年、春先に向けて土地などの物件の動きが出てくるが、客の様子を見てもあまり動いているとは感じにくい。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・年が明けて、商店街や商店街周辺の店舗の閉店や廃業が数店あった。新規出店もあるが、トータルで見ると店舗は減少傾向にある。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・小規模だが取引先の倒産や廃業が目立ってきた。新年会なども活気が無く、外食産業は低迷が続いている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・客が必要な物を必要な分だけ買うということと、要らない物は買わないという傾向に再び変わってきていることにより、販売量自体は前年同月比で減っている。前年11月は非常に悪かったが、正月が明けてからも同様の状況になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数及び客単価ともに、微減の状態が続いている。収納代行などの支払に関しては増えているようだが、目的外利用をする客が多いようである。		
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・降雪の影響が出ている。今年は例年よりも早くから雪が積もっており、そのため特に夕方の来客数が悪化している。朝の来客数はあまり悪くなっていないが、過去3か月間の中では苦戦した月であった。特に12月は例年よりクリスマス関連の承り商品の動向が良かったので悪く感じなかったが、1月は大きな承り商品もなく、より苦戦していた月になった。		
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・生活必需品の売上は維持しているが、趣味嗜好品の売上が伸び悩んでいる。		
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・正月も過ぎ、近々節分であるが、かなり財布のひもは固く厳しい状態にある。品物もあまり動いていない。		
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	お客様の様子	・高級品は売れているかもしれないが、生活必需品の売行きが悪いと感じられる。		
		その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・例年に比べ足元が良いので、もっと来店頻度が上がるべきであるがそれが下がってきているため、売上は前年を下回って推移している。健康食品やダイエット関連商品の落ち込みが大きい。		
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・個人の慶弔利用が例年並みで推移したものの、12月に続き法人接待や会合が例年の85%と低調のままである。		
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・年明け以来、人の動きが特に悪い。		
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前は、東日本大震災の自粛からの反動で、個人を中心に家族とのつながりを深めようといったレストランや宿泊の需要が多かった。その絆需要は基本は続いていると思われるが、勢いが弱い。宴会では、受注件数は前年並みだが1人当たり単価が4%程度低下しており、まだ販売価格は下げ止まっていない。		
		タクシー運転手	販売量の動き	・ビジネス客が少ないことと、介護タクシー業者の新規参入が続いており、今までの病院通いの方の数が減っている。		
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月比で3か月前と比べると、個人の旅行の動きが鈍くなっており、1割程度の利用者数の減少がみられる。		
		その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・会員数の減少が続いている。		
			悪くなっている	—	—	—
		企業 動向 関連  (北陸)	良く なっている やや良く なっている	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円安傾向により設備投資意欲が出ている。
金融業（融資担当）	取引先の様子			・政権が交代し、株高、円安とこれまでの市況感が是正されて、期待感がやや出てきている。		
新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き			・前月に引き続き、土地不動産や住宅関連のチラシの出稿量が上昇してきた。		
司法書士	取引先の様子			・相続税対策のためのアパート建設など資産運用のための案件が多かった。		
変わらない	繊維工業（経営者）		受注量や販売量の動き	・円高是正で輸出に期待感があるものの、現実の受注はまだまだ厳しい。		
	繊維工業（経営者）		受注量や販売量の動き	・繊維業界はどちらかという循環的な問題より、構造的な問題を抱えているので、シーズン性も非常に影響するが、この1～3月については、シーズンから考えると、例年通り、非常に厳しい月である。したがって、今年の冬物は良く売れたが、生産段階においては、非常に厳しい状況である。また、非衣料については、安定していると思う。		
	プラスチック製品製造業（企画担当）		受注量や販売量の動き	・産業資材も住宅資材も動き出しており、活発になってきているという傾向はみられるが、まだ、売上の増加に至るまでにはいかない状況が続いている。		
	精密機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・生産量としては海外向け及び春の新商品量産の時期にあたり負荷は若干多めであるが、例年の季節変動の範囲である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・主に、建築工事の見積依頼案件が増加してきたものの、価格競争が激しくなってきたことから、住環境は厳しい状況にある。	
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・前月と同様に、中国との関係が改善する見込みは無い。	
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・新政権に対する期待感もあり、株価、為替も受け入れやすいように動いてはいるが、足元については、まだ個人消費も弱く、設備投資も医薬品業界などに限られていることから、現在の景気については、決してまだ良くなってはいないと判断する。	
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたところ、情報が少しずつついてきているといった意見が少し増えてきている。	
		税理士（所長）	取引先の様子	・客先で、小売業は依然として価格の低迷が続いており、あまり良い伸びがない。製造業については、一応、輸出関係を中心とした下請の客については、円安ということもあり、非常に取引の引き合いが多いが、まだ為替が動いている関係もあり、受注元である大手の会社からのはっきりした受注価格の提示が止まっている状況である。また、中国向けのキャンセルが多少多く続いているため、新規の需要の見込みはあるが、今現在の生産自体が足踏みの感じがしている。	
	やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	それ以外	・販売価格は価格競争が激しく下振れしたままであり、かつ主原料も高値で継続している中で燃料費が上がってきており、経費増の様相となっている。	
			建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は公共工事が急激に発注され、年末工期の工事の完成に向けて多忙を極めたが、今年に入り除雪作業はあるものの、手持ちの仕事量が減少している。
	悪くなっている	—	—	—	
雇用 関連  (北陸)	良くなっている	—	—	—	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・プログラマーの派遣の要望が長期ではないが予想以上に増えてきている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・1月の求人広告の売上は、前年同月比で10%増えている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・一部製造業で増産の動きがあり、それに伴って、人手不足感が出てきている。	
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・季節的に求職者の動きが乏しい。求職登録者数も全く増えていない。不安定な派遣期間契約に求職者は目を向けない。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・サービス業、医療や福祉、卸売業や小売業からは常時求人があるが、製造業は依然として求人意欲が乏しい状況がみられる。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増加傾向にあり、新規求職者数は事業縮小などの影響でここ2か月は増加したが、有効求人倍率は34か月連続して上昇している。	
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・人材紹介や派遣とも受注案件は欠員補充が中心となっている。事業の新規や拡大にかかる求人が、介護関係を除いては少ない状態になっている。	
			学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人件数については、若干だが増加している。なお、次年度卒業予定者の就職相談が活発になっている。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・1回の掲載につき100件ほど求人数が減っている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が8か月ぶりに前年同月を下回った。派遣求人のみは増加しているが、それ以外の産業別ではほぼすべてにおいて求人が減少している。	
		悪くなっている	—	—	—

## 7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (近畿)	良くなっている	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・アベノミクスにより世の中の雰囲気良くなっている。来場者数も増えており、今後にも期待している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・昨年秋からの雑貨商材の強化により、来客数が増え、売上に貢献している。
	やや良くなっている	百貨店（企画担当）	単価の動き	・正月早々、高額品の福袋が例年以上によく売れるなど、年末から高額品の動きが良くなっている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が前年並みに回復してきた。婦人服と生鮮食品の売上が前年を上回っている。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・年明け早々、バーゲンセールが始まり、来客数、販売量共に昨年よりも増加している。ただし、例年よりも寒い日が続いていることも影響し、高額な時計や宝石、美術品の動きが鈍いことから、まだまだ完全に景気が上向いているとはいえない。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・政権交代以降に景気回復感が先行し、若干ではあるが消費マインドが改善しているようである。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・冬物商戦が一段落し、店頭動きが落ち着いている一方、宝飾品や輸入時計、呉服などの商材の動きが良くなってきている。やはり、株価の動きなど、富裕層のマインドアップにつながるような材料が出てきている。ただし、店頭の通常商品への波及については、まだまだ様子見といったところである。
		百貨店（商品担当）	単価の動き	・株価が上がったお陰で、宝飾品などのぜいたく品などにも動きが出てきた。単価が前年比で1割程度上がっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・寒い日が多かったために、単価が上がったこともあるが、新政権への期待で少し上向いているように感じる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価はややダウン気味で昨年末から推移しているが、来客数は昨年並みを維持する傾向にある。
		スーパー（広報担当）	それ以外	・既存店での来客数確保は依然として厳しい状況が続いているが、政権交代以降の株価回復はプラス材料である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ファストフードの売行きが相変わらず好調で、そのほかの菓子類やデザート類などの新製品も、以前よりは売行きが良くなってきている。
		家電量販店（企画担当）	それ以外	・政権交代があり、明確な物価上昇の目標が出されたことや、消費税に関する様々な施策が要因で景気が上昇している。
		乗用車販売店（経営者）	それ以外	・自動車業界は依然厳しいが、株高や円安などで、何となく明るい雰囲気である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きは良くなっているが、客の様子からも、政権交代後の景気に対する期待感を感じるようになってきている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・1月に入り、新規来店はまずまずで、受注もほぼ計画どおりに推移している。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・年を越しても客足が衰えていない。接客していて、客の購買意欲を感じる。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・目標の未達成が続いている。買上率の低下が原因であり、入店客数の前年比は変化がないことから、来店はあるが購入に結びついていない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・株価が上がり、円安傾向が進んでいるほか、新政権の打ち出した経済政策や金融政策の迅速な動きにより、客のムードとしては良くなってきている。
		一般レストラン（経理担当）	お客様の様子	・政権が交代したことによる期待感や、円安、株高による効果が出ている。
		観光型ホテル（経営者）	お客様の様子	・客は基本的に節約傾向ではあるが、正月など家族のイベントにはそのような様子がみられないため、若干良くなっているように感じる。
		観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・売上や収益面においては、2年前の台風12号による被害の影響から回復傾向にある。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・円安や株高が一時的なものかどうかは見極めが必要であるが、景気上昇の期待感を持つような状況になりつつある。3か月前よりもわずかではあるが、景気は上昇している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行の申込は件数、金額共に昨年を下回っているが、年始から海外旅行の申込が大きく伸び、全体を押し上げている。
		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・今年は3連休が多く、夏休みや冬休みなどの長期休暇以外でも旅行に行きたいという客の問い合わせが多くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年、正月明けの時期は消費疲れの影響で、客の乗り控えや、最寄り駅までの近距離客などが増えるが、今年は遠距離の客が増加したように感じるほか、流し営業でも客を探す苦労が少なくなっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年1月は申込数が落ち込んでくるが、今年は目標を110%達成できている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・政治への期待感が感じられる。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候に左右されやすい施設にもかかわらず、寒い日が続くなか、来客数は前年を上回っている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,018円で、3か月前の客単価は9,286円であったため、やや良くなっている。
		競艇場（職員）	単価の動き	・2か月連続で購買単価が若干上昇するなど、単価の低下傾向が底を打った気がする。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	お客様の様子	・政権が交代して、経営者は明るい表情をしている。株価、為替の変化もあり、何か期待できそうな前向きな考えを持っている。新政権に代わって景気回復の可能性が出てきたため、それに向けた前向きな思考が変わっている。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・当社に実感はないが、新春の情報交換会では、全般的に昨年10月以降は取引が活発化しているとの意見が多数出ている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・事務所の移転につき、拡張などの前向きな動機による検討が増加傾向にある。
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・一時的な動きかもしれないが、政権交代に伴う株価の上昇など、市場全体が上向きになっており、消費税増税前の駆け込み需要も若干みられる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・不動産に対する投資案件が微増傾向にある。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・1月の住宅展示場の来場組数は、前年比で4割増である。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・新築マンションの販売市場においては、株価の上昇、円安の進行による心理的影響からか、高額住戸の検討者の来場が増加傾向にある。
変わらない		商店街（代表者）	競争相手の様子	・昨年11月の梅田地区の百貨店リニューアル後は、周辺の売上動向が当初の予測どおり厳しい経過となっている。同店自身も目標には届いていない様子で、全員が負け組となっているのが現状である。今春の再開発事業の開業後はなお一層の競合激化が予想されるので、結局梅田地区に勝ち組はいなくなりそうである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・昨年末からバーゲンが始まっているが、商店街の通行人は少なく、各店舗の客足も悪いため、売上が昨年よりも伸びていない。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上をみると、12月の繁忙期を除くとほぼ横ばいである。
		一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・1月現在と10月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均で見ると、関西は1月が96.2%で、10月が105.7%、関東は1月が89.6%で、10月が95.0%、中部は1月が90.7%で、10月が100.4%、中国は1月が114.0%で、10月が105.5%となり、各地区合計の平均は1月が95.6%で、10月が102.8%である。今年に入り、出足はそれほど悪くなかったが、中旬以降は低迷が続いているなど、全体的に回復傾向に転じるのはまだ難しい。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	お客様の様子	・12月の政権交代後、株価の上昇や円安傾向で、雰囲気としては悪くない感じが年末ごろはしていた。しかし、1月に入ると野菜の高騰なども影響し、やはり少しでも安い物を必要最低限だけ購入しようとする傾向は変わらない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・景気が良くなる感じはあるが、今のところは必要な商品しか売れていない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・販売量は横ばいか、日によっては落ちていることも少なくない。ただし、消費者の様子は数か月前と違い、いくらか明るいように感じられる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・相変わらず前年比での販売量の伸び率は上がらないなど、数字につながらない状態である。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・入店客数はこの3か月間、前年と同水準で推移しており、売上も同様である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・当月の前半は福袋、バーゲンの動きが良く、好調なスタートであったが、中盤以降は失速しており、目標には届かない見込みである。高額商品の動きが良くなる等の傾向も見受けられるが、景気の良さを実感しているのは一部の客のみで、大半の客は消費に慎重であり、その姿勢は大きく変わらない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・周りの環境は良くなってきているが、単価はそれほど上がらず、来客数も増えていない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・初売りやクリアランスでは、単価は低いものの販売点数は増えていたが、10日以降は寒さのせいに来客数が低迷し売上も伸び悩んでいる。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も、先月からの寒波の影響で気温が低く、来客数が減少しているが、冬物衣料を中心とするクリアランスバーゲンは好調に推移している。しかし、食料品ギフト解体の催事は、在阪百貨店と開催時期が重なった影響からか、苦戦する状況となっている。
		百貨店（販促担当）	単価の動き	・来客数は堅調ながら、客単価は前年を下回っている。今はクリアランス時期で気温も低下しているが、客が吟味して購入する傾向は続いている。一方、モチベーション需要に対する動きは順調で、必要な物や記念になる物への購買意欲は上向いている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・ターミナル駅周辺の人口減少が入店数にも大きく影響しており、店の売上が苦戦している。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・年末からの気温の低下により、鍋物などの動きが良い。また、野菜の相場が急騰し、客単価の引上げにつながっているほか、豚、鶏肉などの動きも良い。ただし、毎日使う物は相場のけん引で景気が良い一方、加工食品など日持ちする商品の動きは芳しくない。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・午前中の客は特に、近隣のスーパーで買い得品を買って当店へ来たり、当店で買物をして他店へ行くという動きが、今月は顕著にみられる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・冬物商材の動きはまずまずであるが、高額商材の動きは伸びていない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・年始は比較的好調な滑り出しであったが、中旬以降から月末に向けて悪化していき、月間トータルでは厳しい状況である。気温が低めで推移したため、冬物衣料は堅調であるが、その他の売行きは芳しくない。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・年末商戦はまずまずで、年明け以降も株高が続いているが、販売は今一つである。気温も平年より低いが、衣料品が爆発的に売れることもなく、消費は停滞気味である。
		スーパー（社員）	競争相手の様子	・年末年始の販売状況は、前年よりも好調な店舗が多かった。気温の低い日が続いており、生鮮食品を中心に客の購買量も堅調である。全体の消費は活発に動いているが、競合店の開店が続いており、既存店舗の売上はほぼ横ばいが続いている。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・食料品などの購入頻度の高い商品では、競合先との激しい価格競争が行われている。近隣の競合店の価格を調査し、1、2円でも安く売るため、単価が下がっている。
		スーパー（開発担当）	お客様の様子	・年末年始は消費が増えたものの、その後の買い控えが激しいなど、客は本当に必要な物だけを購入している。
		スーパー（企画）	単価の動き	・年末は底堅い動きであったが、年始以降の消費動向が上向いている感はない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・依然として売上、来客数共に前年よりも10%ほど落ちている。
		コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・昨年後半からのトレンドに変化がない。気温による影響などの短期的な変化はあるが、流れとしては低調なトレンドである。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・3か月前と比べると良くなっている気はするが、売上や客単価は昨年と変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月の来客数は前年比で多少プラスではあるものの、1品単価、顧客当たりの単価は共に落ちている。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	販売量の動き	・冬物セールの売行きが低調である。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客は今後の景気がどうなるか、様子をうかがっている感がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・客が商品を購入する際、必要であるにもかかわらず、決断を渋る場面がよくみられる。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・3か月前と比較しても、販売量には変化がほとんどみられない。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と変わりなく推移している。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	競争相手の様子	・催事での招待客にキャンセルが出たり、売上目標の達成が難しい状況である。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	来客数の動き	・アベノミクスの話が先行しているが、肝心の所得が増えない限り消費は上向かない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・平日の動きに大きな変化はないが、週末の需要や企業の利用が減っている。年末年始で出費が増えるため、客が外食を控える時期ではある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年始めは昼夜共に来客があったが、寒さが増してからは近隣の商店街も人通りが少なく、来客数が減っている。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・売上は前年の水準を上回っているが、来客数はわずかに届いていない状態が続いている。客単価の前年超えが年末年始の営業後も続いていることを考えれば、1回当たりの消費額が若干上向いているとも考えられる。
		一般レストラン（店員）	来客数の動き	・昨年からの寒さによって、平日の来客数は少ない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・客1人当たりの価格を下げたことにより、団体予約が多少入ってきている。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、前年と同じような推移で、景況については特に感じることはない。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・1月の予約状況はますますであったが、今月に入ってから伸びが思ったほどなく、少し期待外れの結果であった。新政権の経済政策や円安、株高などで先行きの期待感はあるものの、現状は消費者もまだ慎重な姿勢のようである。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・近隣町村からの新年会利用やパック料理の配達が増える傾向となり、当施設の利用が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は、中国人の団体観光客が皆無の状態が続いている。その対策として、格安のインターネット販売による国内ビジネス客の取り込みは功を奏したが、少し販売価格を上げると全く集客ができない。競合他社との低価格帯でのしぎ合いが継続中である。宴会は、大型会合が受注できたため、売上は前年を大幅に上回ったが、それを除くとマイナスの状態にある。特に、単価が下がり、人数の規模も縮小している。
		都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・客室、レストラン共に、正月は前年を上回る売上であったが、1月全体としては前年よりも微減となる。特別な日以外は、客の料金に対する反応が厳しい。
		都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・正月期間は宿泊、レストラン共に前年を上回る状況であったが、それ以降の動きが鈍く、1月としては全館で前年をやや下回る予想である。レストランの高額店舗も、良い店と悪い店とに分かれ、景気の判断に困る月となっている。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・料飲部門が依然として低迷している。来客数は前年比で93%程度であり、かつ販売単価も低調な動きが続いている。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・新政権に期待しているが、まだまだ動かない状況である。世間が動き出すまでには時間がかかる。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・このところの景気回復傾向でも、地方経済には特に変化がない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・春モデルや新商品が出始めたが、冬モデルの発売時よりもインパクトに欠ける。卒業、入学式、新生活シーズン前なので、学割などの割引も、盛り上がるまでにはまだ時間がかかる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	お客様の様子	・イベントのチケットは売れているが、ホールでの飲食は横ばいであり、近くのコンビニなどからの持込みが多くなっているように思われる。自動販売機や売店の売上は前年比で横ばいというよりも、やや下降気味になっている。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設] (企画担当)	来客数の動き	・昨年の後半よりも集客状況はやや良くなっており、上向きの流れは感じられるが、天候要因などの影響も大きく、力強さが本物かどうかは分からない。
		その他サービス [ビデオ・CDレンタル] (エリア担当)	販売量の動き	・タイトルにも恵まれ、12月は前年の水準をクリアしたが、今月はその反動で前年割れに戻っている。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税の増税前の駆け込み需要と思われる動きがあり、モデルルームの集客状況は好調である。
	やや悪くなっている	一般小売店 [時計] (経営者)	来客数の動き	・例年よりも寒さが厳しい感じがするほか、正月の余韻や、疲れが残っているのか、来客数がとても少なかった。前の通りを歩いている人や、遊んでいる子どもも少なく、町がひっそりしている感じがする。インフルエンザやノロウイルスが流行っている影響もあり、来客数が朝からゼロの日もある。
		一般小売店 [花] (経営者)	お客様の様子	・週単位で納品契約をしていた客が、納品間隔を伸ばしたり、キャンセルしたりと、経費削減を進めている。
		一般小売店 [野菜] (店長)	お客様の様子	・今までも決して良くなかったが、今月は飲食関係の悪さが際立っている。
		百貨店 (売場主任)	販売量の動き	・セール時期にもかかわらず、衣料品の販売量が低迷している。気温の低下に伴い、本来は防寒用品が売れるはずが、消費者の財布のひもは固い。
		百貨店 (企画担当)	お客様の様子	・店内イベントでの集客効果は大きかったが、期待したほど買い回りには結びつかなかった。
		スーパー (企画担当)	来客数の動き	・来客数が前年比で96%となっており、下げ止まり感がない。
		コンビニ (店長)	単価の動き	・来客数が減少し、客単価も下がってきている。目減り分は、たばこの前年割れ分にほぼ相当するなど、たばこ離れがどんどん進んでいる。
		乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・先行きの不透明感を不安視する声が多く、大きな金額が必要な乗換えよりも、できるだけ車検や修理で出費を抑え、様子をみたいという客の声が多い。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・想定内ではあるが、1月に入って、客足、売上共に落ち込んでいる。
		高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・販売量は前年を上回ったが、来客数が減少するなかでの単価上昇であり、結果が出て必ずしも良くなったとはいえない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・年末の反動で、例年1～2月は悪い時期となる。寒さで近距離なら乗ってくれる客もいるが、繁華街に出る客が少なく、人の動きも少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・最近は何日に日に悪くなっているような気がする。
	悪くなっている	一般小売店 [珈琲] (経営者)	販売量の動き	・年末から年始にかけて物の動きが悪くなっている。取扱商品が輸入品であるため、円安の影響を受ける。
		一般小売店 [花] (店長)	お客様の様子	・1月の売上は激減となっている。年末の出費の反動と思われるが、冬の寒さはまだまだ厳しい。
		コンビニ (経営者)	来客数の動き	・ビルのテナントが梅田地区や難波地区に移動するケースが多くなってきている。また、ビル自体が古くなって建て替え時期となり、マンションに変わってきている。
企業動向関連	良くなっている	その他非製造業 [民間放送] (従業員)	受注量や販売量の動き	・株高によって景気浮揚感が広がっている。
(近畿)	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業 (情報企画担当)	受注量や販売量の動き	・政権が代わり、景気対策重視といった政策が打ち出され、景気動向が上向きに転じたと思われる。しかし、これからが本番であり、急速に好転するのではなく、着実に消費が拡大する施策を期待したい。消費税が上がる前の駆け込み需要ではなく、住宅関連や新たなエネルギー施策、ロボット産業、再生医療などの対策を期待する。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の試作が動き出している。量産に結びつかは分からない部分が多いが、少なくとも3か月前よりも動きが速い。スピード感が持続すれば、景気回復につながる判断の1つとすることができる。
		金属製品製造業（営業担当）	取引先の様子	・先々の建築需要への期待から、取引先では少し在庫を積み増す動きがみられる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・あれほどしつこく円高で推移していたのに、最近の急変ぶりには驚いており、ドル表示の価格をいつ下げるかを検討している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年どおり、年度末は受注量が少し上向いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電は年度末を見据えて、企業からの依頼が多くなってきている。土壌汚染調査については、消費増税をにらんだ不動産会社の土地購入の動きに合わせて、問い合わせも増え、受注も増えてきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・政権が代わった影響か、正月が明けてから、問い合わせや来客が増えてきたようである。
		通信業（管理担当）	それ以外	・株価、円安の状況から、景気が良くなっているように感じる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込件数が増えている。消費税の増税前ということか、マンションや自動車などの広告が目立って増えている。読者の購読中止も減って、購読数が上向いている。
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・今年に入り、若干落ち込んだ期間もあったが、来客数、売上などを総合的にみて、数か月前よりも上向いているように感じる。
		変わらない		食料品製造業（経理担当）
繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き			・受注量は減少気味である。
パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・上向いているように感じるものの、継続して上向くとは思えない。同業他社をみても、かなり売上を落としている会社が多い。
金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・政権交代により市況は明るくなってきているが、電気料金や鋼材の値上げといったマイナス要因もあり、今の段階で荷動きは増えていない。
一般機械器具製造業（設計担当）	受注量や販売量の動き			・政策的な影響が出てくるのは、まだまだ先である。
電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子			・新政権になり、雰囲気的に良くなっている。税制面も変わるということで、気分的にも変化しているが、注文が増えるまでには至っていない。
電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き			・家電量販店での荷動きは依然鈍く、全体的に前年を割り込む状況となっている。
電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き			・9月以降、受注量に大きな変化がない。家電量販店向けの照明の受注が特に厳しい。
輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き			・企業訪問での感触は、秋以降、短期的な範囲ではあるが、国内の設備投資に関する動きに改善がみられるものの、受注に結びつくまでには至っていない。
その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	受注量や販売量の動き			・受注量が増加しない。
建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き			・相変わらず激しい受注競争が続いているが、鉄筋などの建設資材価格が上がり気味である。職人も業種によっては不足気味である。
輸送業（営業所長）	受注価格や販売価格の動き			・少しずつ新規の案件も出てきているが、個々で利益を出すのが難しく、総合的に考えなければ利益が出ない。
金融業（営業担当）	取引先の様子			・現状はまだまだ厳しい状態であるが、新政権への期待感も大きく、景気回復の期待から徐々に良くなる。
不動産業（営業担当）	取引先の様子			・神戸から企業が撤退していき、事務所や賃貸住宅の賃料が下落傾向にあるが、円安により多少回復している。
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き			・総選挙などによる広告の特需は徐々に減少し、大きな動きはない。
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き			・政権が代わり、年が明けて雰囲気は良くなってきているが、売上は前年を少し上回る程度である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		その他サービス 〔自動車修理〕 (経営者)	取引先の様子	・政権が代わっても、まだ世間は動いてない。	
		その他サービス 業〔店舗開発〕 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・低気温の影響で冬物商材の動きが順調となっている一方、外出機会の減少につながり、駅ナカ店舗は来客数がおおむね減少傾向にある。	
		その他非製造業 〔機械器具卸〕 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・円安、株高になり、良い方向に向かっているが、実際にはまだ実感もなく、変化もない。	
	やや悪く なっている	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・年が明けてからの月前半は商品の動きはあったが、中旬以降から動きが悪くなってきた。年末にお金を使ってしまったせいもあるかもしれないが、この寒さで野菜が高騰しているため、特にキャベツなどを使用するお好み焼きなどの消費が減り、当社製品の購入に影響している可能性がある。	
			食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比べて取引先からの受注量が減っており、前年比でも減少している。急激な気温の低下も、飲料水の販売に影響を及ぼしている。
		繊維工業(総務 担当)	取引先の様子	・円安の影響で加工代、原材料代が上がってきたが、販売価格に転嫁できない状態であり、利益を圧迫しつつある。	
		化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・年明けから、世の中の雰囲気とは対照的に、荷動きが例年に比べて非常に遅い。	
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・当社の主な取引先が業界再編の最中にあり、投資案件が凍結されるケースが多い。このため、新規投資の動きが遅れ、結果として注文量が減っている。	
		電気機械器具製 造業(企画担 当)	取引先の様子	・周囲に退職者が多く、景気が良くなってきている感じはない。	
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・学習機の売行きが悪い。	
		広告代理店(営 業担当)	取引先の様子	・郊外のショッピングセンターは冬のバーゲン時期であったが、来客数は多い一方、単価がさほど上がらず、トータルでは前年を下回っている。	
		経営コンサルタ ント	受注量や販売量 の動き	・コンサルタントの仕事で主に電機業界向けの仕事をしているが、電機各社の苦戦による影響を受けている。	
		悪く なっている	化学工業(管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・販売数量が前年比で20%減少している。
			その他非製造業 〔電気業〕(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・先行きはまだ不透明である。
雇用 関連	良く なっている	—	—	—	
(近畿)	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・年度末を控え、各分野でかなり忙しくなってきた。特に住宅関連のほか、ここへきて大手生命保険会社が年度末に向けて動き出している。ただし、この忙しさは3月末までで、新年度からどうなるかはまだ分からない。	
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・求人数もさることながら、正社員化の動きが多いなど、先行きの透明度が増した影響がみられる。	
		人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・紹介予定派遣などの正社員案件が増加傾向にあり、人材不足となっているが、企業の採用条件は下がらない。	
		新聞社〔求人広 告〕(管理担 当)	求人数の動き	・求人広告は引き続き順調に推移している。対象となる中小企業は、単にムードだけで求人を増やすことは考えられないため、景気は上向いているように思われる。	
		新聞社〔求人広 告〕(営業担 当)	求人数の動き	・新聞への求人広告量から判断すると、若干回復してきている。	
		新聞社〔求人広 告〕(営業担 当)	周辺企業の様子	・政策の変化への期待感は大いだが、各社にとって具体的なメリットがどのように出てくるのかについては不透明である。人の動きに関しても、今は様子見状態と考えられる。	
		学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・2013年3月の卒業見込み者(現4年生)に対する追加求人数が、昨年よりも増えている。	
		学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・医療系機関は慢性的に求人難ではあるが、昨年度よりも求人依頼の件数が増えている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・求人数の伸びは堅調であるが、求職者の絶対数（登録者数）の伸びが低迷気味である。
		人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・受注の動きは変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新聞広告の出稿状況をみていると、関西の地場企業からの広告は、増えもせず減りもしない状況である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者の数が増加しており、滞留の動きもみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の落ち込みなどの影響で、求人数が減少傾向にある。円安による経済効果は、あまり求人数にまでは反映されていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・12月の新規求人数は11か月連続で前年を上回ったものの、その伸びは昨年10月ごろから急激に鈍化しており、なかでも製造業からの求人が大幅に減少している。しかし、1月に入ってやや持ち直しの動きがみられるほか、新規求職者数が引き続き減少していることから、景気については良いとも悪いともいえず、現状維持である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きについては、介護関係の求人増により増加しているが、製造業などの求人の動きが悪化している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・窓口は何十枚もの求人票が、未充足のまま長期間残るといった状況が続いている。一方、建設関係の日雇い労働者不足で、求人数は頭打ちの状況である。
		民間職業紹介機関（大学担当）	採用者数の動き	・14年3月卒の学生の採用活動が開始され、説明会が相次いで行われている。その関係で、13年3月卒の学生の選考はほぼ終了している。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新規採用に対する企業の意欲は、依然として一進一退である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・電機業界などの不振の影響や、中小企業の経営不振などの影響が大きい。
			やや悪くなっている	—
	悪くなっている	—	—	—

## 8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (中国)	良く なっている やや良く なっている	○	○	○
		商店街（代表者）	お客様の様子	・3か月前と比べると政権の安定度、株価、円安傾向など明るい状況が生まれ、客の財布のひもが多少なりとも緩んできたと感じられる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・昨年同月比で100%を上回る店舗が6割近くになり、先月に引き続き少しは良くなっている。ただ、店長等の実感はまだまだという感覚であり、冬のセールが終わった後の春物の売行きで今後の傾向がわかる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年売上を日々クリアしている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今年は天候に恵まれ、少しずつ状況が良くなっている。特に昼の来客数が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・必要な商品は高くても買う傾向がある。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・円安、株価の動きの効果がある。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・政権交代の影響で10月と比較して来客数が120%で推移している。
		乗用車販売店（副店長）	それ以外	・外部要因ではあるが、円安傾向にあるため輸出型企業は株価が上昇している。
		自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・全く売れなかった高額商品が売れ始めている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	来客数の動き	・株価の値動きなどから着実にマインドが改善されていると感じる。テナントも新規出店、増床といった前向きな動きがみられる。
		一般レストラン（外食事業担当）	単価の動き	・来客数と客単価が前年を上回っており、少し高価な物の注文が増えている。宴会でも単価の高い商品の注文が増加している。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スナック（経営者）	来客数の動き	・年末年始の関係で12月と1月は忘年会・新年会があり、次の月をみないと本当に景気が上向いているか分からない。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・昨年の秋ごろより回復傾向にあった法人の宴会利用が、今月に入っても好調に推移している。宿泊客もほぼ前年並みを確保できておりさらに上積みも見込める。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宴会利用の客単価が前年より約500円、宿泊客単価も約200円上がっている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・冬季大型イベントを正月まで延長した効果が顕著に表れた。大型イベント終了後は冬の花修景の人気もあり、来園者数が前年を2割程度上回っている。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・ここ数年に比べて積雪が少ないことと冬季のイルミネーションの実施で、来客数が増加している。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・正月のレースで来客数が多かった。
		その他レジャー施設（アミューズメント）	来客数の動き	・年末年始を含む冬休みは、前年比20%増の来客数が続いている。映画を中心に娯楽目的で来店する家族連れや、若者とも多い傾向が続いている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・今年に入って戸建て住宅や、小規模オーナービルの引き合いが活発になってきている。政権交代による景気回復の期待感を背景に、消費税増税前の駆け込み需要がいよいよ始まったことを実感している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街内通路の公共工事があり、通行止め状態になっているので通行人が激減している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候に左右されるものの暖かい日は来客数が増える。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・一番忙しい昼食時に以前ほどの活気がみられない。客はコンビニで済ませている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・年が明けて、気温が低く来客数が少ない。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・商店街への客数は減少しているが、店の売上は業種によって異なり、インターネットでの販売量の差も著しい。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・会社設立用の印鑑注文や名刺の注文が少なく、企業活動は活発ではない。
		一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・政権交代で景気に対するマインドは上がったように思われるが、来客数や客単価など現状は変わっていない。厳しい寒さの影響で人の動きが悪い日もあり、例年通りの状況である。
		一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・お歳暮商戦、年末年始とひと段落して落ち着いた状態に戻ったが、相変わらず客の財布のひもは固く、料飲店の売上が伸びない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・セール期間の長期化傾向に拍車がかかっているためセール前半の勢いが年々失われているものの、割引率の高まる後半になるほど基調が上向いてきている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・1月は前半の気温の低下で防寒用品のセールが全般に好調であった。アクセサリー類も単価が上がりながら好調を維持している。店舗全体でも前年並みで推移する見込みである。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料関係はアパレル業界が意図的に冬の商材を遅らせてクリアランスという仕掛けをしていたので、客が安い商品を求める時期に商品が安くならず、かなり厳しい状況である。毛皮や宝石といった高額商品は前年よりも動きが良いが、まだ財布のひもは固い。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・閉店が決まった昨年の10～11月あたりと状況は変わらず好調に推移している。商圏人口の割には売りつくしの中だるみがなく、客足は好調である。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・来客数、客単価ともにわずかに伸びているため、直近数か月の売上で比較すると回復傾向にあるが、依然として前年からは大きく落ち込んだ状態が続いている。		
百貨店（営業推進担当）	お客様の様子	・前半は堅調に推移したが、後半は客数、売上等若干伸び悩んだ。		
スーパー（店長）	単価の動き	・単価の動きに変化はないが、正月明けから動きが非常に鈍い。		
スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ半年ほど来客数が前年の98%という状況である。		
スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前から販売点数が横ばい状態である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	お客様の様子	・政権交代後、株価や円相場など好転の兆しがあるものの、客の買上動向は以前とさほど変化はなく、低価格商品への要望が強い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比95%で推移している。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・野菜等の価格が上がり買上単価が伸びない。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・来客数は前年より増えているものの、買上数量、平均単価が前年を下回っており、売上が前年を下回っている。チラシ商品以外は動く心配がない。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・例年明けから2月ごろまでは売上が落ち込む。これをもって単純に3か月前と比較すると、「悪い」との判断になってしまうが、販売量、客数の変化でみたときには例年とほぼ変わらない状況で推移しており、景気の方角については変わらない。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・年明けの来客数と売上は例年通り少ないが、今年は商品の動きが更に悪い。
		スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客単価は変わらず前年をキープするものの、来客数減少の回復傾向はなく、全体の売上が伸びてこない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は止まりつつあるが、上向きに転じてはいない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が引き続き前年を下回っている。競合の店も加速しており、大幅な来客数の増加は見込めない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・婦人衣料の単価が二極化しており、全体的に単価は上がらず来客数も増えない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	お客様の様子	・円安、政権交代での期待感はあるが、購入点数や購入金額は減少している。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・毎年閑散期の時期ではあるが、例年と比べ同様の来客数・売上で推移している。3か月前も似たような状況だったので景気は変わらない。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・エコカー補助金が終了し、10～12月の販売量は前年比85%と大変厳しい状況である。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	来客数の動き	・今月も来客数が少ないままで、土・日曜日に天気が良くないことなどもあり、売上が伸びず苦戦が続いている。
		その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・必要な物は買うが、趣味し好品などはウィンドウショッピングで済ませる客が増えている。来客数も減少している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・初売りでの来客数は多く、生活歳時でのイベント時には目的買い要素がみられるが、日常生活に戻ると必要なものしか買わない傾向が強い。政府が景気対策を打ち出し、株価上昇で心理的には上向き傾向だが、一般消費者の購買動向の変化には至っていない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・正月が過ぎて落ち込む時期であるが、平日も来客数があり前年より状況が良い。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・日によって来客数が少ない。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・正月も終わり消費は底冷えの状態である。手取り賃金低下の影響が顕著で、客の消費意欲が相変わらず悪い。来客数の割りに買上率が低下している。
		一般レストラン（エリア担当）	来客数の動き	・年始から非常に厳しい来客数で、その後も夜の来客数の減少が目立っている。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・レストランの来客数が伸びないのに加え、価格競争が激化しているため単価も伸びない。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・今年になり航空機運航停止の影響で、当地区は大変な状況である。減便振替作業等は収入にもならず時間に追われている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・政権が交代して客足は少し上向いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・12月の忘年会シーズンが終わるとともに元に戻っている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・政権が代わったことへの期待感の話は客との間で出ているが、消費や商品選別についての現実的、具体的な変化はまだ表れていない。
		通信会社（広報担当）	販売量の動き	・春商戦期が始まるに従い動きが変わってくるが、現状は3か月前と同レベルか、低下傾向で厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・1月は正月需要で成人式までは好調であったが、成人式以降は春モデルの新商品発表もあり低迷気味である。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・例年より寒い日が続き客の動きが鈍くなっている。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・メニューの単価を下げ、売上が落ち込んでいる。
		美容室（経営者）	単価の動き	・商品購入が増えることはなく、ヘアカラーは自宅でやる人が増加し、新メニューに対しても反応は良くない。
		その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	お客様の様子	・客との日々の会話のなかで、景気の変化が伺える話は一切聞かれない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・面談した客の収入に変化はないが、若干手当てが廃止された客も見受けられ、消費に対して慎重である。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・戸建て住宅の新築物件が例年に比べ減っている。リフォームも耐震補強工事のみ行うケースが多く、工事費もあまりかけないケースが増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税増税問題で客が困惑している状況である。
		住宅販売会社（販売担当）	お客様の様子	・県内主要企業は製造業が多いため、昨今の円安で輸出系企業の安堵感はあるものの、給与（残業手当等を含む）の上昇までには至っておらず、客の購買意欲も横ばいの様子である。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・時期的に客足が冷え込むが、ほぼ例年どりの状況である。
	やや悪くなっている	商店街（理事）	来客数の動き	・正月景気で活気はあるが、例年に比べて大型店へ客足が向いていた。
		商店街（代表者）	単価の動き	・地元百貨店の閉店セールの影響で売上が低迷している。政権交代による景気浮揚はまだである。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	お客様の様子	・観光客の数は多いが、地元客が減少しているので景気が落ちている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・冬セールは若干の下降傾向で、高級ゾーンの低迷、単品購買と客単価の低下が目立つ。特売企画も価格訴求の目玉商品は人気を集めるものの、その他商品への買いまわりは少なく、客の厳しい購買姿勢は継続している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・訪問販売が厳しい状況である。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・競合他社との低価格競争と販売促進強化による客の買いまわりで、買上点数が減少しているため、客単価が下落している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・売上が減ってきている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・低価格商品の動きは良いが高額商品は悪い。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・昨年同期比で来客数が減少している。大河ドラマの反動と思われる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・天候が悪いこともあるが、正月を挟んで消費が低調である。株高になっても財布のひもが緩むのは一握りの高額所得者のみである。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・政権が交代し景気対策がなされているが、消費が改善するには時間がかかる。円安が進み、光熱費の値上がり家が家計を圧迫している。		
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	来客数の動き	・年末年始の客の動きは良かったが、22日以降気候の関係もあって極端に悪くなっている。		
都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・入込客数を見ると、山陰地区（鳥取県・島根県）においては個人旅行客・団体客ともに前年に比べ減少している。		
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・市場の動きが悪く、企業・個人とも円安、株高の影響が出ている様子はない。		
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街の客数は回復していない。		
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・今年の1～2月は例年に比べても寒く、客の動きが悪くなっている。雪も多く来客数が減っている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・一段と販売価格の低下が進んでいる。販売価格の下落や消費税増税で、ますます日本経済が下降線を進むように思える。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・新政権に変わりムードとしては明るくなってきたが、消費状況は依然厳しく、今月も売上は大きく前年を下回っており決算がとても不安である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・年始より客単価の落ち込みが進んでいる。また、年末年始で出費がかさんだ反動や、灯油・ガソリンの値上げの影響で消費の落ち込みや、買い控えが顕著に見受けられる。肉でいえば牛より豚や鶏へシフトしている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年比70%で非常に低迷している。
企業 動向 関連  (中国)	良く なっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・12月と9月を比較すると水揚げ数量は1,477トン、水揚げ金額は2,550万円の増加である。12月単月の前年比は水揚げ数量35トンの増加で前年の101.5%、水揚げ金額1億1,320万円の減少で前年の81.0%であった。
	やや良く なっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年12月の反動で動きの悪い1月の調子が良い。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・モデルチェンジ商品の量産が好調である。KD輸出向け（部品を輸出し現地で組立て）も通常から75%減少していたものが50%減少に持ち直してきている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造系の客から来年度に向けた予算取りの引き合いが増加しており、前年度よりも受注確度の高い商談となっている。
		金融業（自動車担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、納入する完成車メーカーの新型低燃費車は受注が計画を上回っているが、その他の車種は受注が低迷しており、全体の操業は前年並みで推移している。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数と成約件数が増加している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通常の業態だけでなく、車両販売の広告の増加など他業態での広報も増え、前年より売上増に繋がっている。
	変わらない	繊維工業（統括担当）	受注価格や販売価格の動き	・単価競争が厳しく状況は好転していない。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・国内産業は景気回復の兆しはあるが、素材産業にまだ実感はない。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特に年明け以降、株価上昇・円高緩和基調ではあるが、経済的に現時点では大きな変化はない。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・一部の電子機器関連で伸びたものの、自動車関連では精彩を欠いている。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%程度で、厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・政権交代、円安傾向に期待するものの、中小企業へ効果が波及するには時間がかかり、当面様子見といった空気が漂っている。
輸送用機械器具製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・今後の受注量に期待が持てない。	
建設業（経営者）		受注量や販売量の動き	・1～2月は年度末近くで公共土木事業の最盛期のはずであるが、産業廃棄物の搬入量が芳しくなく、悪いまま推移している。	
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・医療関係の大型物件が立て続けに受注でき、半期で例年の一期分に近い実績を残しているが、その他の分野でのまとまった受注については予想が立っていない。今後の資材、人件費の上昇が利益を確保するうえで懸念される。	
通信業（営業担当）		受注量や販売量の動き	・回線系サービスの受注量などは特に変動がない。	
金融業（営業担当）	取引先の様子	・当地における取引企業の資金ニーズは依然として低い。特に設備投資については、不動産業等の業種に限られている。個人消費は住宅ローンの低金利が続いていることから相応の需要はあるが、その他の消費はおおむね横ばいの状況が続いている。		
会計事務所（職員）	取引先の様子	・例年1月は正月の反動で、小売業・サービス業の動きが鈍くなる月であり今年はその傾向が大きい。特に、小売業では商品の動きがパツとしない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・低価格商品主体の販売傾向、客の節約傾向がより強くなってきている。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現行はいまだ大口取引先の当初受注量の下方修正により減産を余儀なくされている状態である。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・新設ゴミ焼却場の生産に着手しているため高い生産量であるが、新規受注は低迷している。
		輸送業（業務担当）	取引先の様子	・輸出関連客以外の製造業の客も出荷数量が落ちている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・1回の発送個数が減少し、個人集荷も低迷している。
	悪くなっている	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高傾向が続いたため製品価格の値下げ要請が引き続きあるなかで、一気に円安となり海外からの仕入値が急に上昇し、採算が全くとれなくなっている。
輸送業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・売上数量・金額の減少に歯止めがかからない。	
雇用関連 (中国)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（サイト運営担当）	採用者数の動き	・2014年新卒採用において各社の募集意欲が高い。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有料職業紹介に関しては好調であるが、主力の人材派遣に関しては前年を下回って推移している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・正規雇用の求人数が増えてこない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	求職者数の動き	・景気の改善がみられることはなく、新卒採用に関わる各企業とも人材の確保は必要不可欠という考えを持っているが、枠が前年よりも多くなっている企業は少ない印象をうける。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・引き続き新卒採用の求人は、リーマンショック以降の回復傾向にあるが、直近で勢いが増しているというわけではない。
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・政権交代、円安、株高など好材料があり、心理面では上向いてきているが、実態としては「これから」である。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・2014年度の新卒募集が昨年12月からスタートしたが、このエリアでの募集企業は前年より増加している。また、今春卒業予定者の新卒採用もいまだ続いているため、企業が人材を抱える傾向があり今後の景気見通しは良いと思われる。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・特に変化はない。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・求人は携帯販売会社から大量募集のあった小売業（派遣）やコールセンターからの募集が好調なサービス業、介護施設からの新規オープンスタッフの募集があった医療・福祉では大幅な増加となったが、製造業を始めその他の業種が低調で求人全体では微増に止まった。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率は連続して前年を上回っているが、大型商業施設の開業といった特殊要因によるところが大きく、まだまだ雇用拡大にはつなげない。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・12月の新規求人数は前年比では増加しているが、同年8月以降減少に転じ、12月は約千人分の減少となっている。有効求人数も10月以降減少していることから悪くなっていると考えられる。しかし求人倍率は新規、有効とも求職者の減少が大きく前年同期を上回っていることから、求人倍率は前年同月より良くなっている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・求人数は3か月前に比べ18.8%減少している。産業別にみてもどの産業も求人は減少している。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・有効求人倍率は7か月連続で前年を上回っているが、新規求職者が減少しているためである。管内企業で希望退職の募集を行うという話もある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	—	—	—

## 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている やや良く なっている	—	—	—
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今年の冬は大変寒く、初売りやバーゲンが好調で、かなりにぎわった。
		商店街（代表者）	それ以外	・新政権の積極的な経済政策により我々のマインドも変わってきている。政策効果に持続性が伴う確信が持てれば、日本経済は回復する可能性があると考えている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・株高や円安を背景に、大手企業は業績の回復が期待できるが、消費者には増税や輸入品の価格高騰等の先行き不安も増大している。このため、来客数が増加しているものの、店頭売上は連動していない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・国が経済を活性化しようとしているので、消費者も徐々に買物することに目を向けてきている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・宅地造成や新築工事が始まり、建設業が好調だと感じる。それに伴い、来店客・売上高の増加につながっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・平日の来客数は変わらないが、休日はいつもの1.5倍に増えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・昨年秋のエコカー補助金終了後の落ち込みから少し脱却し、今月から販売量が上向いている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・春の需要期を迎えたことに加え、昨年末に主力車のマイナーチェンジがあったため、低価格・低燃費に安全性を備えた商品に手応えを感じている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・来客数はやや増加している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・景気が良くなっているかどうかは分からないが、昨年より売上は増えている。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・中間価格の新商品を発売したところ、予想以上に引き合いがあった。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・1月の売上は10億5,400万円となり、19か月ぶりに10億円を突破し、前月比12.5%増、3か月前比31.8%増、前年比では10.6%増となった。また、正月のレースの売上も4億円を超え、前年比では11.2%増となった。
	設計事務所（所長）	それ以外	・市内にある遊休地の開発が、少しずつ進み始めた。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・年度末に向け、業界として繁忙期に入っており、手持ち業務量等も前年度より多く、売上増加が期待出来そうである。	
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の動きが悪い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・正月や成人の日関連商品は売行きが悪かった。しかし、送別用商品は今年に入って売上が増えている。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	お客様の様子	・景気が良くなっているという実感はないが、悪くなっているということもない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・消費者の財布の紐が固いことに加え、寒さの関係か、外食することが減っており、料飲店への納入が少ない。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・婦人衣料の売上前年比がマイナス傾向で推移している。
スーパー（店長）		競争相手の様子	・売れているのは、ポイントサービスや割引率を上げたりしている店舗で、そうでない店は、商品単価が下落している。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・来客数と売上高の前年比がここ数か月間、同じ傾向で推移している。	
スーパー（人事）		販売量の動き	・12月は踏みとどまった感じがあったが、1月に入ってから売上が減少している。	
スーパー（財務担当）	販売量の動き	・ほぼ前年並みである。売上高や客単価が昨年より若干上回っているが、大きな変動はない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・市場は株高、円安となっているが、一般の消費にはまだ影響が感じられない。
		その他飲食〔ファストフード〕（経営者）	来客数の動き	・広告宣伝を打っても以前の様に反応がない。買い控えをしているように感じる。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・政権交代を受けて株価が上昇するなど明るい話題はあるが、航空機のトラブルによる欠航や円安で海外旅行が伸び悩み、個人旅行は増えていない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・例年並みの販売状況である。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数が減少し、客単価も低下している。週末の予約も、引き続き低調である。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に伸び悩みが続いている。
	やや悪くなっている	コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温の低下や天候不良により来店客数が減っている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・1年で最も売れる月なので、大きな期待をしていたが、バーゲン2日目以降は伸び悩み、特に月後半が昨年と比べて悪かった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金終了後は、販売量が減っている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了から新車受注、販売共に減っており、景気が良いとはいえない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年、利用客が落ち込むシーズンであるが、今年は宿泊客だけでなく、地元のレストランや食堂利用者も減ってきている。利用を手控える動きがみられる。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・驚くほど毎日来客数が少ない。
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上、外商売上ともに前年を大きく下回っている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・正月の福袋やセールも前年より大幅にマイナスとなった。来客数の減少とともに単品買いが増えていることで、売上が大きく減少している。
タクシー運転手		お客様の様子	・建設関係の談合の影響から、建設関係の利用が少ない。	
タクシー運転手		来客数の動き	・年が明けて動きはとても悪い。夜は街に人が出ないため、待っていても乗客がつかまらない。3か月前と比べて、売上が4割くらい減っている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安により輸出の採算が好転し、価格競争力も回復傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メガソーラー事業の需要が増加し、先月の約2倍の契約ができています。他にも年度末が近付いており、非常に忙しい。
	やや良くなっている	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・自民党政権による景気に対する回復期待・安定感が強く感じられる。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年が明けてから、全国の小売店からの発注量が増加している。
		金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・地震や津波に対する不安から新築マンションの販売が好調である。自民党政権となり公共事業が増えるのではないかと期待感から景気改善が予想される。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者も含めて物件に対する問い合わせがかなり増えてきている。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・年明けから、良い案件が出てきている。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先財務内容を分析すると、明らかに良くなりつつある傾向がみられる。為替の影響であると思われるが、3か月前よりも良くなってきている。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今は品薄で高単価で推移しているが、出荷が回復すると市況は軟調になると予測する。
		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・政権交代による景気の上振れや消費税の駆け込み需要が少し見え始めた。また、東日本大震災の復興需要も始まっている。ただ、円安・株高で材料面の交渉が予想される。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ受注量に大きな変動を見込んでいないが、為替が円安に振れてきているので、その効果を期待する。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注競争が激しく、採算に合わない場合も多いので、受注につながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・まだ様子見をしている状況である。
		通信業（部長）	取引先の様子	・政権交代による期待感はあるが、実質的に状況は大きく変わっていない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年より落ち込みがひどい。しかし、新商品が一定の受注を確保できており、まずまずである。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・1月の物量は例年を大きく下回った。購買意欲の低下を受けての物量減少に加えて、年末繁忙期に荷主の運賃値下げ要請に応えなかった事が影響している。
	悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・昨年続いた円高の影響により受注量の減少が続いている。
雇用関連 (四国)	良くなっている	○	○	○
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年度末に向けての求人がやや増加している。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・各業種で好況の企業が明確になってきた。勝ち組企業では、予算を使いきる動きがあり、設備投資や物品購入、求人・広告等にお金をかけている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・12月の月間有効求人倍率は0.93倍で、3か月前より0.13ポイント上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・派遣の需要としては長期雇用の人材の採用は特に変化がなく、欠員補充としてのニーズがある程度となっている。ただ、年度末に向けての季節的な採用者数は増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は落ち込んでいないが、新規求人数は減少している。パートなど非正規求人が多く、求職者の希望とのミスマッチの結果、充足に至らない求人が増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・自民党政権に対する期待感はあるものの、地方に波及してくるのは1年先、2年先で、今すぐに景気が良くなるという期待感は薄い。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人件数は昨年同時期に比べて2割ほど増加しているが、先月からは伸びがなく横ばいである。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・中心繁華街なのに人出が少なく、運転代行の利用者もわずかで、カラオケ店でも飲食物の注文が少ないという話を聞く。無駄に消費しない生活がすっかり定着してきているようだ。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・自民党政権による内需刺激策が景気を下支えし、企業マインドの改善が進むと期待されている。しかし、实体经济への波及は遅れるのではないかなど不安材料が多く、中小企業は慎重な見方を崩しておらず、中途採用等を手控えている様子がみられる。
悪くなっている	—	—	—	

## 10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・デパート展において少しであるが、高額商品が売れている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順にもかかわらず、来客数が増加し、売上も微増している。春物商戦に期待できる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・冬物商品が順調に推移している。気温の低い日が続く、防寒物も単価がやや高めの商品が売れている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・3か月前に比べると間違いなくマインドは良くなっている。要因の1つは政権交代であり、株価の上昇等でやはり良くなりつつある。高額品の動きは非常に堅調である。ただ、我々の主としている客やボリュームゾーンの層はまだまだ動きが鈍い。上位の売上の伸びが中間層の売上の減少をカバーしきれないのが現状である。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年を下回り続けていた1店舗当たりの売上の下げ幅が小さくなったり、一部では前年を上回る店舗も始めている。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店員)	来客数の動き	・寒さのせいかわ冬のセール品の売行きが良い。春の新作の立ち上がりは良くないが、冬セールの売上が上がっている。
		衣料品専門店 (チーフ)	お客様の様子	・今年に入りセールも徐々に落ち着きをみせたが、モアセール、ファイナルセールと共に再度、売上が好調に推移している。
		家電量販店(企画・IR担当)	販売量の動き	・テレビの販売量がわずかではあるが、前年同期と比べ、回復傾向にある。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・正月明けて初売りセールをしたところ、客の来店が多く、受注が伸びた。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊、レストラン、宴会いずれも順調に予約が取れている。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・大きな団体は少ないが、前年度に比べると個人の動きは活発化している。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・学生旅行の予約はピークを迎えたが、今年は近場の海外を避け、国内のテーマパークを選ぶ傾向にある。
		旅行代理店(企画)	お客様の様子	・シニア層を中心にクルーズなど、長期間の高額な旅行に関する問い合わせが増えている。
		通信会社(販売部)	来客数の動き	・1月末に新商品展示会をしたところ、大変多くの客が来場した。
		通信会社(営業担当)	それ以外	・政権が交代し、すぐに効果は出ていないが、様々な施策が実行されることが期待され、景気は良くなる。
		美容室(店長)	来客数の動き	・来客数が増えている。
		その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	それ以外	・今年に入り、来社する取引業者との会話のなかで、政権交代による経済浮揚の期待感を含んだ言葉が多く聞かれ、先行きの不透明感を払しょくできる傾向にある。
		住宅販売会社 (代表)	お客様の様子	・住宅の購入に関しては、客層にもよるが、どちらかと言うと高所得者層の動きが少ない。低所得者層は少し動きがある。
変わらない		商店街(代表者)	販売量の動き	・今期の冬は早く寒くなり、11月に冬物衣料が動いた。その反動で12月には一段落し、売上があまり上がらなくなった。1、2月はもっと悪くなると予想される。今年の冬は寒かったので上向きの傾向にあったが、今になって3か月前と変わらない。客の消費行動と購買意欲があまり変化していない。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・例年1、2月は寒さもあり、商店街に出る来客数が減る傾向もあり、停滞気味である。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・政権が代わって株価が上がり、円安になって景気が良くなったという話が出るが、商店街では初売り等も来街客数が少なく、非常に厳しい状況が続いている。
		一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・例年1月は売上も落ち込むが、今年もやはり落ち込んでいる。大型の注文が入らず、2月も中旬の卒業式シーズンまでは悪い。
		一般小売店[茶](販売・事務)	来客数の動き	・寒さから人の動きも悪く、客足も少ない。外販も注文が減ってきている。売上は例年と変わらない。
		百貨店(売場主任)	それ以外	・株価が上がったり、円安傾向になったりして地元の自動車関連の業績が上向くと予測されるが、現在は店頭の上上に即連動しているわけではない。地方に好影響が現れるのにどれくらい時間がかかるか不透明である。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・来客数はここ数か月、前年比2～3%減で推移している。物産展等話題催事をする人は集まるが、平日はなかなか集まらない。この傾向は変わらず、前年比3%減前後で推移している。
		百貨店(企画)	販売量の動き	・相対的な変化は感じられないが、若年層の販売が好調である。セール月であるので、ヤングの売上は想定内であるが、ミセス婦人服が若干苦戦傾向にあるのは不安材料である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・当店の売上の前年比は10月が1.1%減だったのが、今月は同0.9%減であった。同業他社2店をみると、1店は10月が前年比3.8%減であったのに対し、今月は同1%減、またもう1店は10月が前年比3.4%減であったのが、今月は同1.5%減と、いずれも減少幅は縮小するも、依然前年を下回っている。10月よりは若干良いが、良くなっている状況ではない。今月のマイナス要因は当地で行われる例年のイベントが昨年は1月23日から始まったが、今年は2月10日からなので、食料品関係、飲食関係で影響が出ている。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・今季の秋冬は冷え込みが早く、例年より早い11月から防寒物が大きく動いた。しかし昨年売っていた12、1月では逆に失速気味となり、トータルでは相殺され、需要自体は増えていない。
		百貨店（店舗事業計画部）	それ以外	・メリハリ消費が加速しており、手袋等の防寒商品以外で目立って強い動きのある商品は少ない。価値の変わりにくい高級ブランド品と低価格志向に対応した売場が堅調である一方、百貨店が本来売り込みたい中価格帯の商品の動きが弱い傾向が続く。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・円安、株高の傾向を背景に消費マインドは悪くはないが、小売業界に影響がくるのはまだ先となる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・相次ぐ競合店の出店等で価格競争はますます厳しくなっている。当社としても価格を合わせざるを得ず、来客数は一時期に比べると回復傾向にあるが、販売金額としては前年を維持することが非常に難しい状況である。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・以前に比べ、来客数や販売量について大きな変化はない。来客数や販売量に影響が懸念されたが、今冬が、かなり厳しい寒さから、冬物商材はある程度購買につながっている。ただ日常商品など季節以外の商材はあまり変化がなく、全体としては、大きな変化がみられない。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・競合のチラシの投入やイベントにより、自店の来客数が大きく変動する状況である。客は低価格な物を求めて店を変えており、価格に対する意識が相当高い。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・特売やポイントセールの日には1.5～2倍の売上になるが、平日は前年割れが続く。価格に反応する消費者が特に多くなっている。
		スーパー（業務担当）	お客様の様子	・先月と比較して、冬物商材の動きに変化はなく、正月需要も前年比では横ばいである。来客数もここ数か月の傾向と変わらず、大きな動きはない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・年明けより例年のにぎわいがなく、来客数は大幅に減っている。競合店が多く出店したことが一因となっている。売上も同様に前年を大きく下回っている。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店が前年比9.1%減、コンビニエンスストアが同6.2%減であった。3か月前と比較しても量販店の落ち込みが依然止まらないという状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・来客数と売上は少しずつ増えているが、客単価がどうしても上がらない。プラス1品の買物が減っている。レジ回りにも取りやすいように小さい商品を置いており、以前はそれをプラス1品で買い求める客が多かったが、ここしばらくはそれもなくなっている。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・1月はセールの月であるが、政権が代わり、それによって株も上がり、浮かれたような話を聞くが、実際、セールの売上としては例年並みであった。特にまとめ買いをすることもなく、必要な物を必要だけ買うという落ち着いた売上にとどまっている。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・現状は低位安定というかたちで、ほとんど変化がみられない。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今月の新車販売台数は前年比20%減となっている。エコカー補助金の反動減により、3～4か月前から同レベルで推移している。厳しい状況が続いている。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	お客様の様子	・客の様子から、前年と同様、消費は一段落している。販売量も昨年とほぼ横ばい状態で変わらない。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は安定しており、また、冬季の灯油販売や他の油種も例年並みで順調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔書籍〕（地区 支配人）	競争相手の様子	・市内における同業店舗の出店、撤退が重なったが、その影響は自店を含めた他の競合他社に及んでおらず、景気は変わらない。
		その他小売の動 向を把握できる 者〔ショッピング センター〕 （支配人）	単価の動き	・アベノミクスで景気浮上の報道が多々あるが、当施設の消費動向としては、客単価の下落などまだ回復基調とは言い難い。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（広 報担当）	来客数の動き	・政権交代によって取組のスピードは早くなったような気がするが、実際に景気が上向いたというところまでには至っていない。円安によって企業によっては今後、恩恵が出てくるが、一方でガソリンや小麦など輸入に依存する生活必需品の価格が高騰しており、消費者の財布のひもは緩む段階ではない。
		居酒屋（経営 者）	来客数の動き	・売上や通りを歩く人の数を見ても、景気は良くなっていない。
		都市型ホテル （販売担当）	お客様の様子	・他社の話、他業種の話聞いても良い話がない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・月の前半は寒さのせいもあり、全体的に稼働が悪かったが、後半になって予約状況が良く、稼働も大変良くなっており、売上が若干伸びている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年1、2月はあまり景気は良くないが、今年は寒かったせいもあって客の動きがあり、3か月前とあまり変わらなかった。
		通信会社（管理 担当）	それ以外	・債権回収が上手くいかない状態が続いており、資金繰りが厳しい。
		通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・販売促進キャンペーンの手ごたえがない。
		通信会社（業務 担当）	販売量の動き	・1月のスマートフォンを中心とした携帯販売は、昨年同様、正月から上旬にかけて販売数が伸びているが、中旬以降の販売台数は昨年より落ち込みが大きい。週末もあまり売上台数が上向いておらず、全体の販売台数としては、例年より厳しい。スマートフォン関連のアクセサリ商品や関連ソフトの売上アップでもカバーできない状況が続いている。
		通信会社（総務 局）	販売量の動き	・解約数は減少傾向にあるものの、新規契約数の伸びが鈍化しており、現状上向きとも下向きとも言えない。
		ゴルフ場（従業 員）	単価の動き	・プレー代の値下げが止まらず、値下げ競争が収まる気配がない。単価を下げないと客が集まらないという現状で、景気はそう簡単には上向かない。
		設計事務所（代 表）	来客数の動き	・客の様子から、政権交代後の様子を見ている感じがする。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・新築戸建の請負契約、建売住宅の売買契約共に3か月前とほぼ変わらない。
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・3か月前の11月は、1人当たりの客単価はまあまあであったが、今月はかなり節約モードで客の様子をみると、厳しい状況である。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・12月の忘年会シーズンは総選挙があったにもかかわらず客の動きはあった。しかし1月は市長選、市議会選も同時であったため、新年会等が少なく飲食店関係は冷え込んでいる。小売店では客のなかに消費税増税等の不安な話が出てきており、なかなか買物につながりない様子がうかがえる。
		一般小売店〔精 肉〕（店員）	販売量の動き	・飲食店向けの卸の販売量が大幅落ちている。
		百貨店（営業統 括）	来客数の動き	・大きな売出し時には、客の来店があるが、特に婦人客の日ごろの来店が減少している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・3か月前から継続して販売量が減少傾向にある。
		スーパー（店 長）	競争相手の様子	・昨年、競合相手がディスカウントスーパーに形態を変え、夜間の特に7時以降の売上が前年比17%減と落ちている。現状競合店に負けており、厳しい状況となっている。部門的には青果が相場高にあり、動きが悪く、前年比17%減となり、生鮮食料品のなかでは青果が一番苦戦している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・食料品の来客数は大分戻ってきているが、まだまだ安定していない。また、衣料品や住関連商品は非常に苦戦している状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の出店により、来客数の減少がみられる。1人当たりの買上点数は増えているが、やはり来客数の減少により、悪い状況である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・年末年始が終わり、バタリと暇になり、販売量、来客数共に前年比は悪い。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・当店の客層は年齢が高く、収入の面では割と安定しているが、買物には慎重な客が多い。消費者の財布のひもは相変わらず固い。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・初商も盛り上がりせず、家電業界全体が袋小路に入り込んだようである。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・新春初売りを行ったが、毎年、来客数が減少している。購入決定にも慎重で、数回足を運ぶなど時間がかかる客が多い。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・空港の利用客は前年比7～8%増と増えてはいるが、販売量は同6%減である。空港の利用客が増えるが、購入単価が上らないため、前年を下回っている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・当店のような割烹料亭は企業の接待が多いが、その接待が少しずつ増えている。予約や問い合わせの電話もよく鳴るようになった。政権交代の効果を実感している。ただ、すごく良くなっているかと言うとそうでもなく、以前よりはやや良くなったという状況である。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・総選挙が終わったことや異常な寒さもあり、人の動きがなくなっている。正月も最初だけで、その後は皆、財布のひもをきつく締めている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・客がかなり減っている。特に夜の歓楽街はかなり客が少なく、閑古鳥が鳴くような状況である。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・正月期間を過ぎると厳寒期の客足に戻る。冬季は各ゴルフ場ともかなり思い切った安値の冬季料金を設定するため価格競争が厳しく、ただでさえ冬季で少なくなっているゴルフ客を単に値引きだけで確保するのは容易でない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・年末からみると、少しずつ上昇機運が上がっているのは大企業だけであり、中小企業までは景気は回復していない。やはり消費税増税等により動きが非常に悪くなっている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産業はマンション分譲の宅地、注文住宅用地の動きが非常に鈍化している。客は買い控えており、消費税増税前の駆け込み需要は今年はみられない。様子見の客が多い。		
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・当社においては、現状として、ウリにできるサービスがない。また政権が代わり景気が上昇するような記事を見るが、まだ実際に小売店への影響は全くない。また、当社は品質勝負で営業しているが、大手のショップが金額勝負でできており、客が流れている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・報道で示されている通り、かなりの寒さで全国的に野菜の生産が少なく、その分価格が高騰し、原価割れで売っている商品が多い。また商品の回転も悪く、利益率も悪いというかなり厳しい状況にある。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・全くとっていいほど来店がない。寒いというものもあるかもしれないが酷過ぎる。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・年初より来街者もまばらで売上につながらない。
		自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・カーオーディオやカーナビの売上が大幅ダウンしている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・昼夜共に来客数が少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今年は午前中が寒過ぎて昼の人の動きが悪く、夜は先月総選挙があったせい、新年会が多い。今年は例年と違う動きとなっている。
		企業動向関連（九州）	良くなっている やや良くなっている	—
家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き			・オフィス家具の需要期は2、3月であるが、この需要期に向けての在庫の積み増しが今月は各サプライヤーとも前年と比較して増えている。また、商業施設向け家具の見積提出件数も増えている。
精密機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き			・受注量が増えつつあるが、為替相場の影響で今月は黒字になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信業（経理担当）	それ以外	・ガolin価格の上昇などの影響はあるが限定的で、円安による好影響が広がっている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・建設業を中心に受注量は継続して増加傾向にある。前向きな運転資金の調達需要までには至っていないが、資金は動いている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・株価の上昇は取引先のマインド改善に大きくプラスに作用している。また、円安による外貨預金の取崩しなど、資金の動きは大きく改善している。
		新聞社（広告）（担当者）	受注価格や販売価格の動き	・広告出稿が増える正月紙面は前年並みの売上だったが、住宅設備関連や旅行会社の出稿が伸び、前年比8%増の売上となった。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・2013年に入り、受注や問い合わせが増えている。
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は例年通り、厳しい月であるため、予想通りの結果になる。そのなかでも昨年に比べると、スーパーや居酒屋等の動きは良い。加工メーカー向けも動きは昨年より活発である。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・生乳関係の販売は、今のところ単価的にあまり変わらないで推移している。
		繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・既存の取引先においては、受注が減少してはいるが、それを補う新規の受注がある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・新年度に入って受注が思わしくなく、新商品は数量がなかなかまとまらない。量産メーカーであるので受注量を多くすると価格競争が激しく、業績につながらない。また円安になっており、燃料であるガスの料金が大幅に上がり、採算が取れない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備や機械部品における受注や見積りは、エネルギー関連以外は前月に続きあまりない。
		建設業（社員）	競争相手の様子	・元請工事が受注できていない業者もあり、下請工事で凌いでいる。現在の当地区の入札制度では、抽選が非常に多く、受注業者の偏りは入札制度の改革がないと解消されない。
		輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・貨物の量があまり変わらない。
		金融業（従業者）	取引先の様子	・取引先の状況を見ると、スーパーやコンビニなどの売上がやや増加している。また、住宅投資や公共工事も前年を上回っている。一方、自動車関連等の輸出が伸び悩み、輸送機械や鉄鋼関連の生産が減少、雇用面も引き続き厳しい状態が続いている。
		金融業（営業）	取引先の様子	・円安により、製造業の海外移転は一時の加速感はなく、一服している。下請企業も一時的と考え、先行きは不安視しているが、現在は落ち着いている。ただし、実体経済が回復している実感はない。
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・新政権に代わって日経平均株価の上昇や円安に振れるなど、経済の一部では改善の兆しが見受けられるが、実態の経済としては厳しい状況である。そういったなかで、消費税増税前の住宅ローンの相談がかなり見受けられる。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・銀行の依頼を受けて1,000社程のダイレクトメールを発送したが、全く反応がなかった。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・ニュースでは政権交代以降、非常に明るい話題が出ているが、現実には明るい動きはない。各業種等での売上高、利益共に昨年と比べると若干悪い。ただひどくはない状況で、今月も動きがある。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・販売量は伸びておらず、購買も買い控えが多い。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安傾向の結果が出るにはまだしばらく時間はかかる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今、受注量や販売量の動きが極端に悪くなっている。タブレット型等が出てきた関係でパソコンが売れなくなり、受注がない。その他の仕事をしていくと受注価格が安い案件であれば仕事はあるが、他には仕事がない。そのため採算が取れないのは分かっているが、そういう案件を取りながら、雇用を守り続けている状況である。新しい商品を開発しなければならない状況下で開発も急いでいる。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・倉庫に預かっている荷物が全く動かない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の建築、土木の公共工事は、12月補正予算によって新たな発注業務があるが、国の補正予算などは反映されていないため、予算金額も発注本数も少ないことから、受注できる業者には制限がある。
雇用 関連 (九州)	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・専門学校就職率が例年より高く、大量採用する企業も増えている。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・景気浮揚に対し、政府の打てる手段に期待感が感じられる。打てる手は打っているため、これで駄目なら現時点では仕方ない。期待感の連鎖が消費を鼓舞していくが、時間はかかる。個人の給与が上がる2年程度は国民は期待感もって待つ必要がある。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年末の需要に引き続き、現在も更に注文がある。複数名の問い合わせもあり、全体的に求人が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・株価が上昇している。
	変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・このところ、事業主都合による離職者が減少しており、新規求職者も減少傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、3か月連続で前年同月比で増加しており、有効求人倍率も上昇傾向にある。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・昨年度の求人件数は前年度を若干上回ったが、今年度の求人件数は、現段階で昨年度を更に上回っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・昨年より求人票の動きが活発である。企業の採用意欲が強い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材依頼のニーズは、ここ数か月、安定的に堅調に推移している。業界別で見れば、建設業やサービス業がけん引している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・求人数は、例年と変わらない動きとなっている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・昨年暮れあたりから、求人件数が伸びず前年並みである。3か月前と比較すると落ち込んでいる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・福祉や医療分野の求人件数は相変わらず多いが、製造業分野の求人はまだ回復していない。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で低下したが、これは平成22年2月以来、2年10か月ぶりである。
職業安定所（職業相談）		求人数の動き	・求人開拓に力を入れていることもあり、新規求人数は前年比で3か月連続で2けたの伸びとなっているが、うち非正規求人数の割合が過半数を占めている。	
民間職業紹介機関（社員）		求人数の動き	・秋口は長期案件が減少することなく、夏から横ばい状態で依頼があったが、現在はその状態よりも10～20%程度依頼が減少している。年度末に向けた例年の単発案件が減少している。	
悪くなっている	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・年度末の求人数は、昨年比で半分程度である。	

## 11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が上昇している。客の消費マインドが高まって1品多めに購入するようになってきている。特にサラダ関係が売れている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・今月の売上を前年比で見ると若干下回っているが、ここ数か月の下げ幅よりは良くなってきた。
	変わらない	観光名所（職員）	来客数の動き	・選挙終了後から予約が増えてきている。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・基本的に、施策上、客単価を上げたということが奏功している。
悪くなっている	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・正月三が日の観光客の利用が前年に比べ好調だったため、今月の貸渡件数は順調に推移している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (総務・企画分野)	競争相手の様子	・競合他社数社では、住宅展示棟への来場が増え、引き合いも増えているとの情報がある。建売棟の販売についても順調である。当社の状況も悪くはなく、景気はやや良くなっているとみている。
		住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・消費増税を意識した住宅建築相談が増える傾向が見受けられる。
	変わらない	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・前半は正月需要で売上も確保でき、寒さもあり中華まん等のホット商材が顕著に伸びた。後半は前半の反動もあり購買も控えめとなり、前年をやや下回るため、最終的には、ほぼ前年並みとなる見込みである。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・街への人の出がかなり少なく、来客数も半減している。郊外の駐車場があるショッピングセンターなどに客が取られているのが現状である。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・年末年始は良かったが、正月後は観光客も帰り、地元客も仕事始めて忙しいのが響いているのかという感がある。
		その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・正月三が日後から例年以上に急激に入客が落ちたが、週末は満席状態が続く。曜日による変化が激しい。新年会自体は減っている。
	やや悪くなっている	観光型ホテル(マーケティング担当)	販売量の動き	・稼働率の前年同月比は、3か月前と比べてもあまり変わらない状況である。前年同月実績を上回る稼働が続いているものの、大きな変化はみられない。
		百貨店(営業企画)	販売量の動き	・今月から近隣の役所が新庁舎として業務を開始したが、その効果が表れず、前年割れとなっている。部門別では、衣料品は前年をクリアできているが、家庭用品が前年割れ、食品は催事場で先の豪雪により参加業者が入店できず準備不足となり機会損失が発生するなど、天候にも恵まれていない。
		スーパー(販売企画担当)	来客数の動き	・前年5月、11月と競合店が出店した影響と、続く消費不況で3か月前と比べると来客数の減少は大きい。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・地域の集客力が低下し、来客数が10%ほど減少している。
その他専門店[楽器](経営者)		販売量の動き	・年末年始は少しは盛り上がったが、トータルでは前年より悪くなっている。回復感世間ではあるだろうが、客の懐は大変厳しいようである。	
通信会社(店長)	販売量の動き	・新商品の発売前ということで販売に力が無く、消費は落ち着いている。		
	悪くなっている	○	○	○
企業動向関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは前年比で減少、民間工事向けは増加となっている。
	変わらない	通信業(営業担当)	競争相手の様子	・客の都合で契約案件が途中で契約解除になるケースが出てきているが、それに代わる契約案件もすぐに出てくる状況である。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注件数はあるが、その割には受注金額が低い。
	やや悪くなっている	輸送業(本社事業本部)	受注量や販売量の動き	・毎年1月は受注量の少ない月であるが、前年と比較しても家電のボリュームが減少しているのが顕著に表れている。その他は大きな変動は無いが、物量的には微減の様子である。
		悪くなっている	食料品生産業(総務)	受注量や販売量の動き
雇用関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・派遣依頼が幅広い業種からある。一企業から複数人数の依頼や、離島からの依頼もあり、医療、福祉施設、事務系とジャンルが多岐にわたっている。
		人材派遣会社(総務担当)	求人数の動き	・年が明けて、前年と比較しても受注案件の伸びが良くなってきた。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数が若干減少している。
学校[専門学校](就職担当)		雇用形態の様子	・この時期の雇用形態は契約社員求人が多く、正社員雇用を希望している求職者に対してはハードルを上げてきている感がある。中途採用の正社員雇用は極少である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪く なっている	—	—	—
	悪く なっている	—	—	—